

# 過去の道徳授業の印象に関する調査

— 教職科目「道徳の指導法」の受講学生を対象として —

< 結果報告書 >

平成26年2月

東京学芸大学「総合的道徳教育プログラム」推進プロジェクト  
企画ミーティング

## は じ め に

今、道徳教育が大きく動いている。文部科学省により昨年3月、「道徳教育の充実に関する懇談会」が設置され、そこでの協議の内容が12月に報告された。道徳の一層の改善・充実に向けた教科化への動きはこれからも進むことになる。

なぜ、今、このように道徳教育の充実がクローズアップされるのか。その理由としては子どもの生命にかかわる出来事などが深刻さの度合いを深め、子どもたちの心の成長の不安が拭えないことが直接の問題として挙げられる。しかし、そのような中、道徳の時間がどこまで効果的に展開されているかについての疑問を感じる人も多いのではないだろうか。指導する教師の側にアレルギーにも似た感情があったり、心の問題を扱うことの難しさを感じたりして、マイナスの意識が働きがちなのかもしれない。また、その実施状況の不安定さとともに、一方で授業の指導の枠組み化や形式化が進み、子どもにとって魅力のない授業になってしまう傾向も見られると言われる。

その課題を明確にする上で、道徳の時間についての子どもの受け止めを把握することの意義は大きい。しかし、それを、日々学習する子どもたちに尋ねるのは教師と子どもの直接的な関係が動いているところでは難しい面もある。そこで今回、教職課程を履修する大学生を対象に小中学校時代に受けた道徳の時間の印象や記憶等について調査し、そこから道徳の時間の充実への示唆を得たいと考えた。

なお、本調査は、東京学芸大学が平成21年度より特別経費により進めるプロジェクト「地域・学校と連携した『総合的道徳教育プログラム』の開発」の一環として行ったものである。本年度で5年目となる本プログラムの推進に当たっては、その実施主体となる推進プロジェクトを設置し、そこに実施の中核となる企画ミーティングを置いて進めてきた。本調査は企画ミーティングの打合せの中で企画され、実施されたものである。

また、本事業では、今までにも大学・短大を対象とした教職科目「道徳の指導法」の実施実態についての調査、教育委員会の道徳事業等についての調査、社会人対象の道徳に関する意識等の調査、小中学校教員対象の学校における道徳の時間の実施状況等を中心とした調査などを実施し、冊子の形式やホームページ上で報告してきている。今後、それらと本調査の結果を関連的に考察することも含め、道徳の時間の一層の充実に資する観点を見付けていくことが重要になる。

本調査に協力いただいた多数の学生諸氏に御礼申し上げますとともに、それぞれの学校、大学等においても、本調査の中から道徳の時間の改善・充実に取り組む上での示唆を見付けていただき、生かしていただければ幸いである。

平成26年2月

東京学芸大学「総合的道徳教育プログラム」  
推進プロジェクト企画ミーティング

# も く じ

1. 調査にあたって .....	1
(1) 先行研究の概観 .....	1
(2) 本研究のねらいと意義 .....	2
2. 目的 .....	2
3. 方法 .....	3
(1) 対象 .....	3
(2) 質問紙構成 .....	3
(3) 手続き .....	3
(4) 分析方法 .....	3
4. 結果 .....	4
(1) 全体的印象 .....	4
(2) 好意度 .....	2 2
(3) 心に残るお話・授業 .....	2 3
5. 考察 .....	3 3
(1) 「道徳の時間」の幅広い側面 .....	3 3
(2) 「道徳の時間」の実施率の差 .....	3 3
(3) 心に残るお話・授業 .....	3 3
(4) 中学校での好意度の予測 .....	3 3
(5) 本研究の課題と展望 .....	3 4
引用文献 .....	3 4
付録：調査票 .....	3 5

本調査「過去の道徳授業の印象に関する調査」の結果報告書は、  
文部科学省の特別経費により進める事業「地域・学校と連携した『総合的  
道徳教育プログラム』の開発」の一環として行い、まとめたもの  
である。

## 1.調査にあたって

小中学校の義務教育期間では、学校の教育課程に標準授業時数として年間 35 時間(小学校低学年は 34 時間)の「道徳の時間」が設定されている。学習指導要領によれば、「道徳の時間」は学校の教育活動全体で推進する道徳教育の要として、道徳教育を補充、深化、統合する時間であるとされる。

授業は、基本的に教師と児童生徒の二者によって構成される。そのため、「道徳の時間」を改善していくためには、授業を設計する教師側の視点から授業を見るだけでなく、授業を受ける当事者である児童・生徒の視点から見て、その印象や評価等から得られる示唆を生かして授業改善を図ることが重要であると考えられる。

### (1) 先行研究の概観

児童生徒が授業に対してもつ印象を実証的に調査し検討した先行研究として、たとえば、文部科学省(2005a; 2005b)、八田(2004)、植田(2005)、兼松(2005)がある。以下で、先行研究を授業設計・改善の視点から概観し、本研究の目的と意義を述べる。

文部科学省(2005a; 2005b)は、小中学校段階における教育課程全体での各教科等の好意度を調査した(小学生  $n=3350$ , 中学生  $n=2924$ )。その中で、道徳の時間は「とても好き」のような好意度で量的に検討されており、道徳の時間の好意度が他の活動に比べて高くないことが示された。すなわち、文部科学省(2005a; 2005b)の調査において「道徳の時間」を「とても好き」「まあ好き」と答えた児童生徒の割合は、他の教科等に比べて低かった(小4:14 活動中 11 位, 小5:15 活動中 12 位, 小6:15 活動中 15 位, 中1:16 活動中 13 位, 中2:16 活動中 14 位, 中3:16 活動中 13 位)。また、他の教科等と同様に、「とても好き」「まあ好き」の回答割合は学年が上がるると共に低下傾向を示した(小4:58.4%, 小5:49.3%, 小6:42.8%, 中1:40.3%, 中2:39.2%, 中3:37.2%)。好意度は授業への取り組みに影響すると考えられるため、好意度の低さは「道徳の時間」の課題の一つと考えられる。

文部科学省(2005a; 2005b)のように「道徳の時間」への印象を児童生徒に回答させることは授業設計・改善のための資料を得るために有効と考えられる。しかし一方で、学校・教師・児童生徒にかかる負担や、学校への意図しない評価につながる可能性も考えられる。この課題は、大学生に対して過去の授業経験を回顧させることで回避できる。

例えば、八田(2004)は、2003 年から 2004 年にかけて大学生 566 名に対し、小中学校時代の道徳授業の印象について調査を実施した。具体的な質問項目は、(1)良い意味で心に残る道徳の授業とその経験学年、(2)読み物資料や視聴覚資料の内容、教師の発問等で記憶していること、(3)授業が心に残った理由、(4)心に残っている授業がない理由(なしと回答した場合のみ)である。

八田(2004)では、「(良い意味で)心に残る授業」に限定して回答を求めているため、良い・悪いという価値判断を必ずしも含まない、「道徳の時間」の幅広い側面についての調査は未検討課題として残されている。また、小中学校の授業経験をまとめて大学生に回答させているため、小中学校の比較も同様に未検討課題である。小中学校の一貫した指導のためには、両者の共通点や違いを把握する必要があると考えられる。

植田(2005)は、2003 年から 2005 年にかけて大学生 752 名に調査を実施し、小学校時代の授業経験について主に検討した。具体的な項目としては、(1)小学校のときの授業で、心

に残っているものはあるか、(2)覚えている資料や話の名前、(3)なぜ心に残っているのか(自由記述)、(4)小学校のとき、道徳の時間が好きだったか(嫌いだったか)、(5)その理由、(6)小学生に「道徳の時間はなぜあるの?」と聞かれたときの答え(自由記述)を検討している。結果として、「心に残っている道徳の授業がある」と回答したのは309名(41%)であった。また、道徳の時間の好意度において、それぞれ「好き」(49%)、「どちらでもない」(31%)、「きらい」(20%)の回答を得た。

植田(2005)では、小学校時代の授業経験を回顧する形で調査を行っており、中学校時代の経験についての調査は行われていない。そのため、小学校時代の経験と中学校時代の経験の比較は、未検討課題として残されている。また、道徳の時間に対する印象は「好きな理由」「どちらでもない理由」「嫌いな理由」として理由の形で調査しており、理由に限定しない印象は調査していない。

以上より、八田(2004)と植田(2005)の未検討課題をまとめると、(1)中学校時代の経験に対する印象の質的調査、(2)小学校と中学校の比較、(3)「(良い意味で)心に残る」や「理由」に限定しない幅広い印象の調査の3点が挙げられる。

兼松(2005)は、大学生75人に対し、小学校・中学校・高校時代のとらえ方と、大学での教員養成に関する意識の関連について調査を行った。具体的な項目としては、(1)小中学校時代の道徳のとらえ方、(2)高校時代のとらえ方、(3)大学で勉強したいこと、(4)道徳教育の意義、(5)公民科の知識・理解であった。結果として、道徳教育の意義は「生き方の深化」(項目例「道徳を勉強すれば、人間としてよりよい生き方を考えることができる」)と「社会性の育成」(項目例「道徳教育によって規範意識を高めることができる」)の2因子が得られた。

兼松(2005)では、(1)小中学校の道徳のとらえ方を「ためになった」「人間として大切なことに気づいた」等の15項目から測定し、因子分析を行っている。15項目に含まれない道徳教育の幅広い側面は調査項目として設定されておらず、未検討課題として残されている。

## (2) 本研究のねらいと意義

先行研究の概観を踏まえ、本研究では、教員養成課程に属する大学生が過去の「道徳の時間」に対して持っている印象を質問紙調査によって検討する。その際、まず(1)良い悪いの価値をあらかじめ設定することなく、「道徳の時間」の幅広い側面を自由記述によって調査する。同時に、(2)小中学校で分けて質問項目を設定し、学校種間の比較を行う。「道徳の時間」に対する学生側(過去の児童・生徒)の印象を網羅的に把握することで授業設計に関する研修・授業改善の参考とし、今後の量的研究への足がかりとすることが本研究の意義と考えられる。

## 2. 目的

本研究では、教員養成課程に属する大学生が過去の「道徳の時間」に対して持っている印象を質問紙調査によって検討する。

### 3.方法

自記式質問紙による調査を行った。

#### (1) 対象

調査参加者は、関東の国立 A 大学の学生 682 名であった。学生は主に大学 2 年生であり、教職課程科目「道德の指導法」を受講していた。

#### (2) 質問紙構成

質問紙は、小中学校それぞれの「道德の時間」に対する「幅広い側面からの印象」(以下、全体的印象)、「好意度に関する印象」(以下、好意度)、「心に残ったお話・授業」の 3 つから構成されていた(表 1)。回答方法は、「全体的印象」と「心に残ったお話・授業」は自由記述を用いた。「好意度」は、「好きだったか」と「ためになったか」の 2 種類に分けて測定した。小学校/中学校の「道德の時間」が好きだったかは、「好きだった」5、「やや好きだった」4、「どちらともいえない」3、「やや好きではなかった」2、「好きではなかった」1、「やらなかった」、「覚えていない」の 5 件法+2 項目から選択させた。また、「道德の時間」がためになったかは、「ためになった」5、「まあためになった」4、「どちらともいえない」3、「あまりためにならなかった」2、「ためにならなかった」1、「やらなかった」、「覚えていない」の 5 件法+2 項目から選択させた。質問紙には注意点として、個別の評価には一切影響しないこと、感じたことをそのまま書いてほしいことを記した。

#### (3) 手続き

調査は、2013 年 4 月に、教職課程科目「道德の指導法」の初回授業中に集団で実施された。回答時間は約 5 分を授業時間内に設けた。質問紙は授業の終了時に回収した。

#### (4) 分析方法

「全体的印象」は、2012 年に行った予備調査を基に、道德教育を専門とする大学教員 1 名が枠組みを作成した。次に、心理学を専攻する大学院生 2 名が枠組みを基にして自由記述回答を協働して分類し、枠組みを修正した。最後に、分類結果と修正された枠組みを基に、前述の大学教員 1 名と心理学を専攻する大学院生 1 名(前述の 2 名とは別)が、枠組みを再度修正した。各記述は、内容を基に該当する全カテゴリに分類された。そのため、一つの記述は、複数のカテゴリに分類されうる。

「好意度」は、得点化の上で小中学校の差を検討するために t 検定を行った。「心に残ったお話・授業」は、自由記述回答をあいいうえお順に並び替え一覧表にした。

表 1. 質問紙の構成

項目名	内容	回答方法
1. 全体的印象	「あなたが小学校や中学校で受けた「道德の時間」の授業についてどんな感想をもっていますか。」(小学校・中学校で分けて測定)	自由記述
2. 好意度	「あなたが受けた「道德の時間」の全体的な印象について、番号または [ ] に○をつけてください。」(小学校・中学校で分けて、「好きだったか」と、「ためになったか」の 2 種類を測定)	5 件法+2 項目
3. 心に残ったお話・授業	「心に残る(ためになった)授業があれば、どんなお話・授業だったか 1 つずつ書いてください。」(小学校・中学校で分けて測定)	自由記述

## 4.結果

### (1) 全体的印象

全体的印象は、8つの大分類と、25の小分類に分けられた(表2と図1)。

小学校で一番多く得られた小分類は、「副読本(教科書)や本(お話)」の40.7%であった。中学校で一番多く得られた小分類は、「記憶にないこと」の32.1%であった。セルの度数が10以下の小分類があるため、学校種内での統計的な検定は行わない。

学校種間比較のために、25の各小分類で、直接確率計算を行った。その結果、25分類中、13分類で、小学校の度数が統計的に有意に多かった(例、「肯定的な印象や感情」)。一方、中学校の度数が有意に多かったのは5分類であった(例、「深く考える学習」)。有意な差が小中学校間に見られなかったのは、7分類であった(例、「否定的な印象や感情」)。

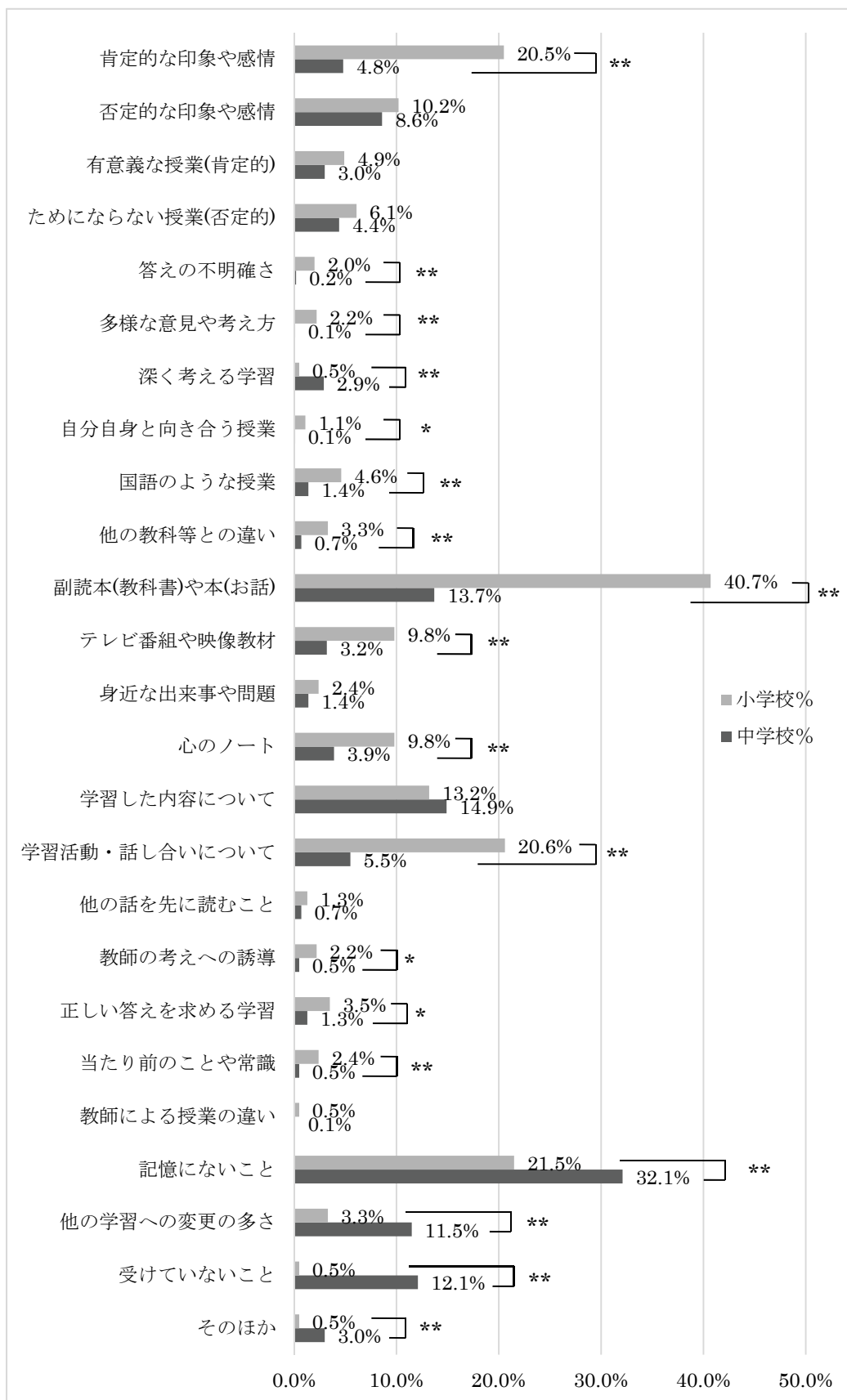
各小分類の具体例を表3に示す。

表2. 全体的印象の分類

	大分類	小分類	小学校	中学校	合計	多い学校種	検定
1	道徳の時間に対する印象や感情	肯定的な印象や感情	140	33	173	小	**
2		否定的な印象や感情	70	59	129	—	ns
3	道徳の時間の意義	有意義な授業(肯定的)	34	21	55	—	ns
4		ためにならない授業(否定的)	42	30	72	—	ns
5	道徳の時間の性格や特徴	答えの不明確さ	14	2	16	小	**
6		多様な意見や考え方	15	1	16	小	**
7		深く考える学習	4	20	24	中	**
8		自分自身と向き合う授業	8	1	9	小	*
9		国語のような授業	32	10	42	小	**
10		他の教科等との違い	23	5	28	小	**
11	授業で用いる教材	副読本(教科書)や本(お話)	278	94	372	小	**
12		テレビ番組や映像教材	67	22	89	小	**
13		身近な出来事や問題	17	10	27	—	ns
14		心のノート	67	27	94	小	**
15	学習した内容	学習した内容について	90	102	192	—	ns
16	学習活動・話し合い	学習活動・話し合いについて	141	38	179	小	**
17		他の話を先に読むこと	9	5	14	—	ns
18	教師の授業への構え	教師の考えへの誘導	15	4	19	小	*
19		正しい答えを求める学習	24	9	33	小	*
20		当たり前のことや常識	17	4	21	小	**
21		教師による授業の違い	4	1	5	—	ns
22	その他	記憶にないこと	147	219	366	中	**
23		他の学習への変更の多さ	23	79	102	中	**
24		受けていないこと	4	83	87	中	**
25		そのほか	4	21	25	中	**

※ 値は度数。検定は両側検定：\*\*  $p<.01$ , \*  $p<.05$ , ns 有意差なし

※ 一つの記述は複数のカテゴリに取り上げられている場合がある



※  $n=682$ , %は延べ。 \*\*  $p<.01$ , \*  $p<.05$

図 1. 全体的印象の分類 (%での一覧)



表3. 全体的印象の具体例

分類	記述の具体例
肯定的な印象 や感情	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な物事の見方や、他者の考え方をみていた気がする。物語を読んだり、テレビを見たりするのがほとんどだったので、楽しかった。(小)</li> <li>・ 国語の授業で扱う話よりも、身近にあることを題材にしたものが多かったので、読んでいて共感できたりするものばかりだった。道徳の授業は楽しみだった。心のノートの印象が強い。(小)</li> <li>・ 本を読んで感じたことを発表し合ったり、書いたりして、楽しかったイメージがあります。(小)</li> <li>・ 沢山発言出来て楽しかった。(道徳の教科書には面白い話が多く、今でも幾つかはよく覚えています。即席ラーメン発明の話や金さん銀さんの長生きの話は何がどう道徳的な話だったのかずっと不思議に思っています。)(小)</li> <li>・ 毎日に授業の中でゆったりできる時間。小学生なりに、道徳の授業内容について、自分で考えていた記憶がある。(小)</li> <li>・ 勉強とはちがった感じで学べてたのしかった気がする。(小)</li> <li>・ 学校の授業の中で最も好きだった。他人の意見を聞くことよりも自分の意見を人に聞いてもらうのが嬉しかった。(小)</li> <li>・ 物語を読むだけでなく、その内容から色々と考えさせられるものが多かった。そういった、色々なことを考えることが好きだったので、自分にとって道徳の授業は楽しいものであった。(小)</li> <li>・ 何をしていたのか詳しく内容は覚えていないが楽しかったような記憶があり、先生により差が大きかったように思う。(小)</li> <li>・ 最近身のまわりであった出来事(道徳に関する出来事)を題材にして議論したりした。いろいろな意見が出て面白いと感じていた。(小)</li> <li>・ 「心のノート」が印象的だった。あいさつのことや友達との関わり方などについて学んだ記憶がある。ビデオも見たような気がする。話し合いが多かったので他の授業に比べて新鮮で楽しかった。(小)</li> <li>・ 国語みたいな授業内容であったため、退屈な授業だった。あまり頭を使う授業ではなかったので、割と好きな授業だったかもしれない。(小)</li> <li>・ "楽な授業"という印象、たまにはハッとする授業もあったが、基本的に常識的な事ばかりで「イイ ハナシダッタナー(棒読み)」という感じだった。(小)</li> <li>・ 教科書の中の1つのお話をクラスみんなで読み進めていく時と、1時間の中で自分でひたすら読みたい話を読んでいく時間があった。みんなで読み進めていく時は、普段聞けない意見を聞いて面白かった。(小)</li> <li>・ 正直にあまり覚えていませんが、小学校低学年のときはガンコちゃんを見てとても楽しかった。(小)</li> <li>・ わかりやすいお話を例に人間の道徳について考えた。他の授業とは異なる感じがして楽しかった。(小)</li> <li>・ 教科書を用いて考え、自分の意見を伝え合うような授業が多く、様々な価値観がとびだす時は面白かったし、ためになったと思えたが、外にでたり、肌で感じたり実践するようなものもしたかった。(小)</li> <li>・ 低学年の頃は、「がんこちゃん」というテレビを見て終わりだった。高学年になると、読み物などをした。低学年の頃は、ただ楽しいだけの授業だったが、高学年になるといろんな意見が聞けて面白かった。(小)</li> <li>・ 国語にはある程度決まった模範回答が存在するが道徳には存在しないみたいな事をいわれておもしろいと思っていた。(小)</li> <li>・ ほとんどが教科書を用いた授業だったが、勉強というよりも読みものという感じで、楽しかったイメージがある。人の心情をみんなで考えて、考えをぶつけ合うのがよかった。(小)</li> <li>・ 教科書があり、毎回その教材に対して意見を出し合い、討論していた。自ら考え、他者の意見も聴くことができるので、大好きな教科の1つであった。(小)</li> <li>・ 自由に発想できる時間だったので好きでした。今でも道徳の授業には興味があります。(小)</li> <li>・ 教科書にのっているお話を読むのが好きでした。(小)</li> <li>・ 色々な道徳心に関する話を読んで、好きな授業であった。(小)</li> </ul>

- ・ 道徳の授業では先生の話の聞いたりした。今思えば「道徳」に含まれるいささか疑問の話題であったが、当時は楽しんでた。(小)
- ・ 小学校当時の年齢でもそれなりに考えることを必要とする内容であった。「考える」ということはその年齢では行うことが少なかったため、毎回楽しみにしていた。(小)
- ・ 「心のノート」を使った授業だった。国語等とはまた違って楽しかった。(小)
- ・ 自由な意見が発表できて楽しい。(小)
- ・ 算数・国語などの授業よりは楽しいと当時思っていた。道徳の授業は他人の意見や価値観を知る機会になっていたと思う。(小)
- ・ あまり難しくない科目。(小)
- ・ 心温まる感じだった。(小)
- ・ しみじみし感動した。(小)
- ・ 楽な授業。ある曜日はラッキーという感じだった。(小)
- ・ 授業がないから、楽に終わるある意味で待ち通しい時間でした。小学生には、「いじめをどう思うか？」などと問いかけるのではなく『いじめは絶対駄目』のもと、なぜだめかを考えさせるべきだと思った。(小)

- ・ 教科書に縛られず、しっかりと自分に必要なものを吸収できるような授業が多かった。内容としても充実していたと思う。(中)
- ・ 小学校の時と比べて、発表型の授業が減る中、道徳は、わりと発表型・参加型の授業であったので、僕みたいにおしゃべりな生徒にはとても楽しいひとときでした。(中)
- ・ 小学校ほどしっかりと道徳をやった記憶がない。だが、小学校のころと同様に、道徳を通していろいろと考えることは好きだった。(中)
- ・ どの先生においても方向性が統一されており、文字を読んで、その内容、問題について討論したりして、心を洗濯する時間であったと思う。(中)
- ・ 自分の身近な状況について考えさせられる授業だった。クラスの中には泣く人もいるなど、本当に身近に感じるものだった。(中)
- ・ 「命」に関する授業を受けたことを覚えている。小田和正の『言葉にできない』の映像教材も用いたもので、号泣した記憶がある。とてもいい授業だった。(中)
- ・ 小学校の時に比べて社会的な内容も入ってきて面白かった。(中)
- ・ 裏面にかいた授業や「ウミガメのスープ」の推理ゲームなど、いくつか面白いと思えるものがあつた。わりと好きな授業だった。(中)
- ・ 中学校では人権作文など書いて、楽しかった。(中)
- ・ 映像を見たり、講演会を聞いたりして、その感想を書いていた。小学校の時に比べて少し視野を広げて物事を考えられるようになったのではないかと思った。(中)
- ・ 命に関係する内容が多かった。今でも心に残るくらいとても感動した内容もあつた。(中)
- ・ かんたんな内容だったけど、グループディスカッションの時間があつたので、すごく内容が深まった。(中)
- ・ みんなで話し合えて、楽しかった。(中)
- ・ ほぼ覚えていない。「よのなか科」という授業は少しおもしろかった。(東京外)(中)
- ・ いじめ等の問題について話しあつたりしていたと思う。思いかえずと充実していたと思う。(中)
- ・ ディスカッションなどをよくして、楽しかった。(中)
- ・ 好きだった。国語や英語、数学のような科目と違い、気楽に、毎回配られる資料についての考察ができた。ただ、当時は成績を気にしていたこともあつて授業のまとめを書くのを、ちゃんとやろうとしていて、それ(書くこと)は嫌いだった。(中)
- ・ ディスカッションは楽しかった。(中)
- ・ 心のノートを記入するのが楽しくもありめんどくさくもあつた。(中)
- ・ DVDを見る授業だったので、楽しい半面眠かつたです。ふだん見られないようなものばかりで面白かつたです。(中)
- ・ 小学校と似ていたが、しっかりとした冊子があつて良かつた。(中)
- ・ 同和問題や病気(公害など)についてやつた。私の周りにはそのようなことはなかつたため、衝撃を受け悲しい気持ちになつた。(中)
- ・ あまり覚えていないが、1人1人考えさせられる授業で、おもしろかつた。(中)
- ・ ビデオを見て感動した時間もあつた。(中)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何となく、価値観がもともと決まっていたように思えた。でも、話し合いがあったのしかった。(中)</li> <li>・ 授業はとても興味深かったです。また、授業が好きでした。考えたことを発信したい思いがあり、小学校のころより発言していました。(中)</li> <li>・ けっこう好きな科目だった。(中)</li> <li>・ 感動していた(中)</li> <li>・ 教科書に縛られず、しっかりと自分に必要なものを吸収できるような授業が多かった。内容としても充実していたと思う。(中)</li> <li>・ 小学校ほどしっかりと道徳をやった記憶がない。だが、小学校のころと同様に、道徳を通していろいろと考えることは好きだった。(中)</li> <li>・ 小学校の時に比べて社会的な内容も入ってきて面白かった。(中)</li> </ul>
否定的な印象 や感情	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的におもしろいと思うことはなかったが、嫌だったという訳でもなかったように思う。19になっている今、道徳の時間を受ければ、もっと有意義な時間になると思う。(小)</li> <li>・ 納得できないことがあった。(小)</li> <li>・ ただ授業のひとつくりとしてこなしているだけの感じがした。毎週似たような内容のことをやっていて、おもしろくなかった。(小)</li> <li>・ あんまり好きではなかった。(小)</li> <li>・ 小学校の頃は自分はあまり道徳が好きではありませんでした。内容が難しく、考えることが中心だったので苦手でした。(小)</li> <li>・ 気持ちを考えたり、どうしてこう言ったのかというのを考えるのが少し苦手だった。(小)</li> <li>・ 他人の心情を考えたり、人の立場になって考えることは当時の自分にとっては難しく、授業中に考えをめぐらす時間は少なかった。とても退屈してしまったと思う。(小)</li> <li>・ とてもねむかった。(小)</li> <li>・ 道徳の授業の多くは、参観授業で周囲に沢山人がいたので、好きでなかった。(小)</li> <li>・ やった記憶はあるが、特に興味を持ったものはなかった。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業はしっかり行われていたが、自分の考えを人前で話すのが恥ずかしかった。価値観の違いを感じていたので、否定されるのが怖かった。(中)</li> <li>・ 小学校とあまり変わらないものであったが、たいくつなものだった。(中)</li> <li>・ 今いちためになったという実感がなかった。言葉は悪くなるが、綺麗事っていう印象を抱いていた。(中)</li> <li>・ 小学校のころと同様、たいくつで一番嫌いな授業であった。(中)</li> <li>・ 先生が話が上手でなかったこともあってつまらなかった。ざわざわしてしまって逆効果だったと思う。(中)</li> <li>・ ずっとやってきているから、感想が同じになりがちだった。(中)</li> <li>・ 小学校で行った道徳の延長線ではあるが、おもしろかったという印象があまりない。(中)</li> <li>・ キレイ事が嫌だった。(中)</li> <li>・ 好きではなかった。普段そう思っていないことを平気という姿がイラッとした。(中)</li> <li>・ お説教だった気がする。(中)</li> <li>・ 小学校と同じです。難しいなと思った気がします。(中)</li> <li>・ 中学生にもなって、道徳の授業を行うということに不快感を覚えた。もう子供じゃないんだから道徳くらい自分でわかるものだと思う。(中)</li> <li>・ 先生の話はつまらないし、教室が静かで飽きてしまう授業であった。寝そうになることが多かった。(中)</li> <li>・ 授業で問われる内容が答えづらく、やはり好きな時間ではなかった。(中)</li> <li>・ 自分の心のうちを全部まわりにさらけだす感じがして嫌だった。(中)</li> <li>・ たまにいい話もあるが、「この物語を通してこういうことを学ぼう」という教える側の考えが露骨に見える気がしてあまり好きじゃなかった。(中)</li> <li>・ 聞かなければならない人ほど寝ていた。「ついで」の親切を「わざわざ」の親切に！の授業が印象的。(中)</li> <li>・ 基本的には楽だが、指されると面倒。(中)</li> <li>・ まじめに受けたら馬鹿にされそうな感じだった。(中)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すでにある程度は道徳的知識を身に付けていたと思っていたので、あまり集中していなかった。(中)</li> <li>・ その人の気持ちになって考えるなど、正答がなかったので、とても苦手だった。(中)</li> </ul>
<p>有意義な授業 (肯定的)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊かな人間性を身につけるには最適な授業だと感じた。(小)</li> <li>・ まだあまり倫理的な心情が身につけていない状態であったのですべての授業で非常に参考になり、自分の道徳観の基本を確立することができた。(小)</li> <li>・ 生きていく上、人と関わる上での基礎のようで、かなりためになったと思うので、やった方がいいと思う。(小)</li> <li>・ 心の栄養。(小)</li> <li>・ 心を育てるにおいてためになった。(小)</li> <li>・ 価値あるものだったと思う。内容を真剣に考えれば考えるほど、自分のその後の生活に変化が出たと思う。(小)</li> <li>・ 週に一、二回程度の授業で、その当時、心に残っていたかは分からないが、今思うと、とても有意義な内容だったように思う。(小)</li> <li>・ 内容(主にいじめ問題や社会マナー)、指導共に良く、少なからず人格形成の良い方向に働いたように思える。</li> <li>・ 今の自分にとっても良い影響を与えてくれた。(小)</li> <li>・ 人を思いやる心が育ったのだらうと思う。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校よりも自分の心に問いかけることが多いと思う。正しいとは何かを小学校+αで学ぶ授業。(中)</li> <li>・ 心が育った。(中)</li> <li>・ 客観的に自分を考え直す良い機会であった。(中)</li> <li>・ 普通の教科教育の授業よりも先生も生徒も真剣になってやっていた印象があり、周りも自分自身も必要な内容であると感じていた。(中)</li> <li>・ 小学校より道徳の理解が深まったので、答えが出なくてもよいのだと少し楽に考えられるようになった。個人で考えたあとに、先生がどう考えるか話してくれたので、個人ごとに異なった良心もあるのだと分かった。(中)</li> <li>・ 偏見についての道徳の授業の後から次第に道徳の授業の意味が分かるようになってきた。(中)</li> </ul>
<p>ためにならない授業 (否定的)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正直にいうと、「なんとなく」やったといった印象しかない。幼いながら偉い人(教育委員会であると後に知る)に見せるための授業なのだといった認識を持って授業を受けていた。(小)</li> <li>・ まだ道徳というものに興味もなく、授業内容もあまりピンときていなかった気がします。(小)</li> <li>・ 考える時間が短すぎて内容を深められなかった。</li> <li>・ 現実味がなかった。*実生活で使える気がしなかった。*実体験に優るものはなかった。(小)</li> <li>・ 低学年のときに受けていたが中～高学年で重視されていなかった。低学年のときに受けた内容は、理解できないことも多く、もっと学年にあった内容にすべき。(小)</li> <li>・ いろんな立場から物事を考えさせられて、当時は何のためにと疑問だったが、歳をとるにつれて意味が分かってきた。(小)</li> <li>・ 当時の自分はまだ幼く何のための授業なのかよく理解できず、ただ聞いていただけだった。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生も適当に授業していたので、やる意味あるのかなと疑問に思っていました。(中)</li> <li>・ 正直あまり意味がないように感じていたと思う。道徳がどうでもいいという意味ではなく、授業で教えて身に付くものでもないと考えていたので。(中)</li> <li>・ あまりためにならなかった。(中)</li> <li>・ 小学校のときに比べ、印象がかなり薄い。授業に対してクラス全体の意識が低かったんじゃないかと思う。(中)</li> <li>・ 必要性がない授業のイメージ。先生も何をしようとしているかわからない感じがした。(中)</li> <li>・ 先生だけ熱弁していたような記憶があります。なので、あまり参加型のような感じではなく、ただの授業でした。(中)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>あまり有意義な時間だったという記憶はありません。印象として、道徳の授業が上手い先生が少なかったような気がします。(中)</li> <li>小学校とあまり違いはなかったか…と思います。(中)</li> <li>勉強の息抜きのような時間だった。成績評価もされないの、他の科目に比べて楽な気持ちで受けられた。(中)</li> <li>ある程度道徳は身につけていたはずなので普段の社会や理科と言った授業を受けるよりかはいいやという印象です。(中)</li> </ul>
<p>答えの不明確さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ただ1つの正解というものはなく、みんなで考えるような授業であったので、モヤモヤした部分があった。(小)</li> <li>何か正解を出そうと考えていた。正解は一つではないにもかかわらず。(小)</li> <li>"国語"以上に正解がなく、人物の気持ちに焦点を当てて自分なりに考える活動をしていた印象。(小)</li> <li>答えが様々だったから達成感がなかった。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>その人にとって何をしてあげることが正解なのか、現実的な面も考えていく授業で、自分の意見がさだまらなかつたりした。(中)</li> <li>1つの物語を読んで、それについて話し合った。答えがでないのがうやむやで納得できなかった。(中)</li> </ul>
<p>多様な意見や考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の人たちとの価値観のズレを感じる場だった。(小)</li> <li>当たり前のような内容でも、深く読み進めることによって、自分では考えつかなかった価値観を共有することができた。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>その人にとって何をしてあげることが正解なのか、現実的な面も考えていく授業で、自分の意見がさだまらなかつたりした。(中)</li> </ul>
<p>深く考える学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の授業で考えさせられることが多かった。(小)</li> <li>人としての考え方などを教えられた気がします。(小)</li> <li>いいこと、悪いことの交差するような内容、考えさせられるものがあった。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校と同じく好きという訳でも嫌いという訳でもない教科だった。小学校のときよりはテーマについて深く考えることができていたと思う。(中)</li> <li>小学校道徳の発展型でより複雑な思考が求められた。(中)</li> <li>月に1回くらい教科書の内容をやっていたが、その内容は毎回考えさせられるものだった印象がある。(中)</li> <li>小学校の道徳よりは、より細かな問題について考える機会が多かったような気がする。(中)</li> <li>小学校の時よりは内容が少し重くなり、人の考えについて考えることが難しくなったように感じた。(中)</li> <li>小学校ほど多くはなかったが、より難しい道徳的な判断をせまられた気がする。とても多くの事を考えさせられた。(中)</li> <li>「なぜ～することがいけないのか?」、「～は本当に良いことなのだろうか?」など、自分たちで考えさせられたという感覚を持っていた。(中)</li> <li>考えさせられる内容だった。(中)</li> <li>すごく考えさせられた。(中)</li> <li>小学校よりも難しいテーマを扱い、より、深い考察ができた。(中)</li> <li>「自分」についてよく考えた記憶がある。(中)</li> <li>道徳の授業を通し、考えが深まった。(中)</li> </ul>
<p>自分自身と向き合う授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の性格判断や将来の夢について見直したりして、自分のことをよく知れたし、先へつながる良い時間だったと思う。(小)</li> <li>自分の考えや思いを知る、深めることができる唯一の授業だったと思う。大人になるための準備のような気がして、受けてよかったと思う。(小)</li> <li>自分のことについてふりかえる授業は好きだった。家族に成長について聞いたりした。話しあいは退屈だった。(小)</li> <li>自分について、よく考えさせられた授業だった。良い心を持つようになれると思う</li> </ul>

	<p>た。(小)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>息抜きタイム。"心のノート"を使って、自分と向き合ったり、他人の良い所、悪い所や、自分との違いを認めたりと、充実していたと思う。(中)</li> </ul>
国語のような授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の授業と似ている教科であったという認識である。物語を読んで考えたことを書く、ということだけでは、国語とやっていることが変わらないからである。(小)</li> <li>国語と同じような感じ。(小)</li> <li>文章読解の国語の授業と同じようだった。(小)</li> <li>国語の授業に近い印象を受けた(小)</li> <li>国語の授業との記憶があいまいです。国語の教科書で取り扱った内容が既に道徳的意味をたくさん含んでいたと思います。(小)</li> <li>国語の授業みたいな感じだった。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語の授業とごっちゃになってしまっていたような記憶がある。(中)</li> <li>あんまり授業に集中していたおぼえがない。国語よりも気楽に文章を読めたのでつまらなくはなかった。(中)</li> <li>このときの道徳は、国語の教科書で学ぶような内容と大して差がなかった気がする。国語と違ってあまり勉強という感じがしなかった程度の印象。(中)</li> </ul>
他の教科等との違い	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳は、社会科などの他教科と比べ、比較的地味であり、あまり重要視されていないように思われるが、生きる力の養成のため、非常に重要であり、特に小学生の時に、物ごとの善悪をしっかりと学ぶべきであると思う。(小)</li> <li>道徳と学活の時間の違いが分からなくどちらかという道徳の時間はNHK教育を見ていたイメージ。(小)</li> <li>ビデオを見たり、道徳の本(物語の様なもの)を読みました。そこはいつもの授業とは違い重く重くしい雰囲気であった。(小)</li> <li>ドラマが見られて楽しい。道徳の教科書は国語の教科書の文章より好きだった。(小)</li> <li>他の授業に比べ多少違う雰囲気の中授業が行われていたような気がします。(小)</li> <li>「道徳」の教科書を使ったりしたが、国語や算数みたいな「勉強」というイメージはなかった。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語、数学などに比べないがしろにされているイメージがあった。(中)</li> <li>総合学習との区別がつかない。(中)</li> <li>好きだった。国語や英語、数学のような科目と違い、気楽に、毎回配られる資料についての考察ができた。ただ、当時は成績を気にしていたこともあって授業のまとめを書くのを、ちゃんとやろうとしていて、それ(書くこと)は嫌いだった。(中)</li> <li>自分の思ったことを書くなどの授業で、「なんでこのようなことをしているのだろう」と思った記憶があります。(中)</li> <li>総合教育の授業に近い感じでした(中)</li> </ul>
副読本(教科書)や本(お話)	<ul style="list-style-type: none"> <li>当時はただの話として教科書を読んでいた感じであり、後にその意味を理解していった。(小)</li> <li>良い人の話をいっぱい聞く授業というイメージしかなかったです。お説教のようなイメージがあります。(小)</li> <li>道徳の授業よりも道徳の教科書の内容のほうが面白かったような記憶があります。(小)</li> <li>物語を読んで、それで終わり、といった感想。(小)</li> <li>本を読んで感想を言うだけで考えを言う部分は少なかった。(小)</li> <li>読み物の授業。感想を書くのがちょっと難しい。(小)</li> <li>教科書の題材を読んで、どのような生き方をしていくのかについて学ぶものだと思っていたが、教師があまり積極的でなかったためか、ただ教科書を読むだけの授業のように思う。(小)</li> <li>良い話を色々聞いた。(小)</li> <li>貸された教科書を使って自分たちで音読した。みんなあまり聞いていなかった印象。(小)</li> <li>本を読んだり、教科書をつかって、主人公や話の登場人物の心理状況を考えた。(小)</li> </ul>

- ・ 意見があまり言えなかったのでつらかった。教科書を読むのは好きだったけれど、座学中心だったのであまり親しめなかった。内容自体はためになる話が多かったと思う。(小)
  - ・ 教科書的な本で毎回テーマに沿った物語を読んで感想文を書いた。(小)
  - ・ いわゆる「良いお話」を読まされる授業。(小)
  - ・ 道徳の本にある話を読んで、登場人物の気持ちや立場について考えた。(小)
  - ・ 色々な話ののった冊子を使用した。低・中・高で冊子が変わった。(小)
  - ・ 教科書とか本を読むだけで、学んでいるという実感がイマイチ湧かなかった。(小)
  - ・ 本を読みました。(小)
  - ・ 皆で物語を読んだ。(小)
  - ・ ただ話を聞いただけで当時は特に何も感じなかった。(小)
  - ・ 世間で起きた「道徳的行為」に照点を当てた文章を読む授業が大半だった。(小)
  - ・ 道徳の本のようなものがあり、それを読む時間だったかと思います。読書の時間というイメージが強いです。(小)
  - ・ 道徳の教科書を使った授業、地域の方々、現場を退いた教員の方に学校へ来ていただいて、お話を聞いたり、一緒に活動したりした。(小)
  - ・ 道徳授業のノートなどに書きこみをしてきた。(小)
  - ・ 副読本を用いた授業(小)
  - ・ イチローなど、偉人の小学生の頃の努力の話が多かった。(小)
  - ・ 教科書で相田みつをの詩を読んだと思う。それについての感想を書いていた。感想としては良く分からないイメージ(小)
  - ・ 何か話を読む時間だと思っていた。(小)
  - ・ 教科書をみんな授業外に読んでいた。内容はいいのに、授業でとりあげる事が少なかったので、「何でこれについての授業がないんだろう」と思っていた。(授業数少なすぎ。もっと多くしてほしかった。)(小)
  - ・ 教科書を読んでいて、それぞれ感想も書いた(小)
  - ・ 読書の時間のイメージ。題材を読んで考える。心のゆとりの時間。(小)
  - ・ 本(教材)を読んで感想を書いていたイメージ。(小)
  - ・ 教科書を読んだりした。(小)
  - ・ 毎回話を聞いたり、読むだけだったような気がする。(小)
  - ・ 先生が調べたり、持ってきてくれたりしたことをただ聞く、受身になっている授業。(小)
  - ・ 「道徳」の教科書のようなものがあり、その中に様々な物語やワークシートのようなものがあつた。何か不思議な話が多かったような気がした。(小)
  - ・ 教室の前に集まって先生が読む話を聴いていたのが一番印象に残っています。正直、自由なことができる授業なんだと言う感想です。(小)
  - ・ 先生の話聞きより教科書に書いてある文章を読む方がいろいろ考えるきっかけになりそうな感じ。(小)
  - ・ 正直、何も感じていなかったと思う。道徳の教科書の中の文章(小説風)を読んでいた時も、ただ読んでいただけで特に何も感じなかった。(小)
  - ・ 物語の感想を聞いただけという印象しか残っていない(小)
- 
- ・ 小学校と同じく物語を読んで終わり、といった印象。(中)
  - ・ 教科書を使って学びました。(中)
  - ・ 道徳のノートのようなもの書き込みながら授業を行っていた。(中)
  - ・ 本が読みたかった。(中)
  - ・ 本を読んだだけ。(中)
  - ・ お話のタイトルは忘れてしまったのですが、病室の窓の外の素敵な世界をお話するおじさんが嘘つきだったという話(同じ病室の仲間を勇気づけようとしていた)は今でも印象に残っている。確か外はレンガの壁だったんです。(中)
  - ・ 主人公の気持ちを考えたりや感動する話をききました。(中)
  - ・ 教科書の内容は特に興味はなかったが、先生の話が面白かったことを覚えている。(中)
  - ・ モーグルの上村さんたちの努力の話や、小田和正の歌についての話があつた。(中)
  - ・ ある出来事で例えばAさんの立場や考え方、Bさんの立場や考え方を自分なりに考えてみるというものだった気がします。色んな人の気持ちになって考えられました。(中)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担任の先生が道徳の教科書を音読しながら泣いたのが印象に残っている。(中)</li> <li>・ 地元の山(高尾山)の歴史とか、登ったりした。ただ学外に行きたくてそれをえらんだ。(中)</li> <li>・ 学年所属の先生方が選んだ文章などをもとに毎回感想等を記述していた。教科書はほとんど使わなかった。(中)</li> <li>・ 教科書を読んだり、学年集会になることも多かった。(中)</li> <li>・ 先生が本を読み、質問したことについて生徒達が考えるという感じ(中)</li> <li>・ 調べものをした。(中)</li> <li>・ 文章やイラストなどをもとにして、みんなでどう思うか、どうするべきかを話し合えたので、ためになったと思う。(中)</li> <li>・ 先生が最初の導入をやってくれて自分の興味を持ったものを調べた。(中)</li> <li>・ 担任の先生の趣味に内容が大きく変わっていた。(芸人好きの先生であれば、ある芸人を取り上げ、おいたちのビデオを見たりした)(中)</li> <li>・ 道徳の本があって、本を読んでその話に出てくる主人公や場面などについて先生が述べていた。もっと生徒同士の話し合いを増やし、生徒の意見を聞いた方がいいと思った。(中)</li> </ul>
テレビ番組や映像教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NHKテレビ番組を見て感想を言う授業が多かったと思います。(小)</li> <li>・ 映像教材を見るが多かったと思う。(小)</li> <li>・ ガンコちゃんを見た。(小)</li> <li>・ ”ガンコちゃん”を見た。⇒何故見るのだろうかと思った。冊子を読んだ。←”新しい道徳”みたいな書き込み型のテキスト。(小)</li> <li>・ 教育テレビを見たりしていました。ガンコちゃんが好きでした。(小)</li> <li>・ ビデオとかいろいろ見たかも。リアルなことを見たり、知ったりして、刺激的なこともあったか。(小)</li> <li>・ ビデオをよく見た。(小)</li> <li>・ テレビを観たり、外で遊んだり教科書を用いた授業以外にもいろいろな活動があった楽しかった。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦争などをテーマにドキュメンタリーを見ていた。(中)</li> <li>・ ビデオを見ているばかりだった。(中)</li> <li>・ ビデオ鑑賞をした。いじめについてのビデオが強く記憶に残っている。(中)</li> <li>・ ビデオを見ました。でもほとんど何もしませんでした。(中)</li> <li>・ 教科書中心というよりは、先生が用意した教材やビデオを見て感想を書くパターンが多かった。(中)</li> <li>・ 集中講義でビデオを見ていた。(中)</li> </ul>
身近な出来事や問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近身のまわりであった出来事(道徳に関する出来事)を題材にして議論したりした。いろいろな意見が出て面白いと感じていた。(小)</li> <li>・ あまり、まじめに授業を受ける子供ではなかったので全く覚えていませんが、クラスで起きた問題を道徳の時間に解決していたのは何となく覚えています。(小)</li> <li>・ ビデオを見たり、副読本を読んだりするのは好きだった。学校でよくありそうな話をとりあげた授業の後には、みんな少し意識して行動が変わっていた気がする。(小)</li> <li>・ 「ガンコ」ちゃん、「さわやか3組」、「虹色定期便」を見る時間だった。TVを見られるたのしさがなかった。クラスであったいじめについての話し合いの時間にもなった。(小)</li> <li>・ みんなでディスカッションを交えながら、いじめについてやその時その時のクラスの問題についても話し合った。(小)</li> <li>・ 道徳の教科書を皆で読み、それについて全員で話し合ったり、クラスの何か問題(良いことでも悪いことでも)が起これば、それについて話したりしました。(小)</li> <li>・ 教科書を読み、その内容について考え、意見交換をした。また、その内容を自分自身の状況に当てはめて、応用・発展させた。(小)</li> <li>・ NHKのテレビをみた。「ざわざわ森のガンコちゃん」「さわやか3組」、テレビをみたあと、先生が最近学校内で起こった似たような話題について話し、プリントに自分の考えを書いた。自分が関わっていない話だと、あまり印象に残らず、テレビが面白かったことだけが記憶に残っている。(小)</li> <li>・ いじめなどに関して、紙芝居を先生が行っていたイメージ。毎回そればかりなので、</li> </ul>



	<p>あまり好きではなかった。「心のノート」には、えんぴつがあまりうまくかけなかった。(小)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめの問題などやった記憶があるが、本音ではなく、これが正解だと思うことを言っていたと思う。(小)</li> <li>・ 出来事などのケースを例に自分の考えをプリントに書いて発表するといったものだった気がします。自分の意見を言うのは嫌いだったので道徳の時間は好きではありませんでした。(小)</li> <li>・ 色々なお話が入った本を読むのは、考えることが楽しいときもあった。「心のノート」は大切なことを言っているのは分かるけどどうさんくさくて嫌いだった。小1のときにクラスのいじめについて先生が話していたのは心に響いた。(小)</li> <li>・ 教科書を使った「いじめ」などに関する授業スタイルで書く個人がしっかり意見を持つよう促された。(小)</li> <li>・ 1冊の教科書にたくさんのお話が載っていて、興味深い話が多かった。特にいじめについては、道徳の授業で絶対にはやってはいけないと学んだ。そういった面で、社会の常識を学ぶために有効な教科であったと思う。(小)</li> <li>・ 本を読んだり、いじめについて話しあいましたが、自分達にある問題が中心的すぎて、全く客観的な授業ではありませんでした。(小)</li> <li>・ ほとんど記憶がないのでよく分からないが、多少いじめにあっている子のことについて話し合う時間があつた。(小)</li> <li>・ ケンカの原因の討議のようなのを小6の時にした授業は盛り上がった。希薄、うわべの授業。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校よりも割と身近な題材を扱っていた。(中)</li> <li>・ クラスの問題について考える時間に当てられた。仲間について考える良い機会だった。(中)</li> </ul>
心のノート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心のノート。(小)</li> <li>・ 授業で、心のノートというものが配られて、空欄に答えを書いていく作業をさせられた記憶がある。子どもながらに、教材そのものの必要性に疑問を感じた。道徳時間は作業する時間だった。(小)</li> <li>・ 文章を読むのは好きだったが、「心のノート」を書くのは嫌いだった。(小)</li> <li>・ "心のノート"を使ったという印象がある。(小)</li> <li>・ "心のノート"に従って授業。(小)</li> <li>・ 心のノートぐらいしか覚えていません。(小)</li> <li>・ 心のノートを書いたけど、教室に保管するので本当に考えていることは書けなかった。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心のノートを使った。(中)</li> <li>・ 「心のノート」というテキストがあり、載っている話を中心に授業を進めていった。(中)</li> <li>・ 心のノートを学年はじめごとに書いていった。自分の主張をかいていた。(中)</li> <li>・ 心のノートを書くのは面倒だった。どちらかというと喋りたかった。(中)</li> <li>・ 心のノート？を使って少し学習したが、作業のような授業で、道徳を、人権を重んじていますと言いたいだけのカリキュラムのように感じていた。(中)</li> <li>・ 心のノートを活用して、物語を読んだ記憶は残っています。(中)</li> </ul>
学習した内容について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原爆について勉強しながら、命の大切さについて学んだ覚えがあります。(小)</li> <li>・ 人が喜ぶことをしよう、社会的立場の弱い人に優しくしようというような内容で、授業が終わったあとは自分が良い人になったような気がしていた。(小)</li> <li>・ 命について学んだり、平等、平和、差別について考えたり、色々感じるが多かったように思う。(小)</li> <li>・ 生命について取り上げた。他人を思いやる内容というよりは命の大切さなど。(小)</li> <li>・ 部落差別などの様々な諸問題を道徳で知った。それは、知らなかった差別意識を知ってしまうということでもあった。(小)</li> <li>・ 「思いやり」「心」「友達」というようなキーワードを使って「Why be moral」について学んだ。(小)</li> <li>・ 同和教育についてやった記憶があるのですが、先生が上手くまとめられず、うやむ</li> </ul>

やな感じで終わったのを覚えています。(小)

- ・ 思いやりや、人としての考え方を教わった。(小)
- ・ 水があたりまえにあるものじゃないとか、自分の身のまわりにあるものが、世界で見たらそうではないといったことをやった。特に水のことは良く覚えている。(小)
- ・ 「～することは悪いこと」、「～することは良いこと」など、何が良いことで何が悪いことなのかを教えてもらっていたという感覚だった。(小)
- ・ 人との接し方を学んだ。(小)
- ・ 何が良いのか、悪いのかを学んだり考えたりしていてよかった。(小)
- ・ イチローの少年時代の話を読んで、そこから自分がやっていたスポーツに真自目に取り込むようになった。(小)
- ・ いじめ問題などについてやった気がします。(小)
- ・ 障害をもった人とかかわりについて。病気の人とかかわりについて。(小)
- ・ 人の気持ちを考えよう。(小)
- ・ 性に対する知識を教えられた。(小)
- ・ どんなことをすれば相手に喜んでもらえるのか、これをすればどんな気持ちになるのかを学べた気がする。(小)
- ・ 思いやりの心を育てたり、他人の気持ちを考えるために、相手の立場を自分の立場に置き換える。というような授業を主にやっていたような気がする。(小)
- ・ 心の授業という印象。(小)
- ・ 倫理的な問題（他者への思いやりなど）を多く取り扱っていた。自分の行動原理に少し影響したと思う。(小)
- ・ 差別について学んだ。部落差別は今もなお続いているということに驚いた。(小)
- ・ 仲良し、とかいじめの内容が多かったように思う。先生が一生懸命になっていた印象が強い。(小)
- ・ 他人に対する思いやりの心を持つようにしようということをやったと思う。(小)
- ・ 道徳は小学校では人権というものについて主にやった覚えがあり、部落差別というものを主にやった記憶がある。(小)
- ・ 友達関係などについて考えさせられました。(小)
- ・ 自分らしさをテーマに授業をしていたような印象である。(小)
- ・ 現代社会で最低限必要なモラルなどを学ぶもの。(小)
- ・ 「して良いこと」「すると良いこと」「してはいけないこと」を学ぶ時間だと思っていました。(小)
- ・ 「こういうことはしてはいけない」というような教訓が多かったように思います。(小)

- ・ 何故勉強をするかとか、何故高校に行くのかとかをやった覚えがある。(中)
- ・ 小学校とは対比で、他人、または、人生について考えるものだった。(中)
- ・ 中学校の道徳の授業ではとくに戦争の歴史をとりあげながら、平和教育が行われていた。地元の平和記念館にもいった。(中)
- ・ ためになるトピックが多かった。全国水平社を学んだことが印象に残っている。(中)
- ・ "命"についてやる授業が多かった気がする。人が死ぬ、そういうところの話に強い印象が残っている。(中)
- ・ 毎週やっているわけではなかったが定期的にやっていた気がする。同和問題や差別、価値観の違いを考えさせる授業であった。(中)
- ・ 人権関係のことを学んだ。(中)
- ・ 少し難しいものまでとり扱った。(中)
- ・ いじめについて。(中)
- ・ 人として大切なことを学んだと思います。(中)
- ・ 大人としての心。(中)
- ・ 相手の心をくもうという取り組み。(中)
- ・ 社会情勢について。(中)
- ・ 道徳がどういう内容か、それを少しずつ理解し始めて、特に差別問題についてはたくさん取り上げた記憶があります。(中)
- ・ 人権について学んだことが多かった。(中)
- ・ 人として生きていくうえで必要な考えを学んでいくものという印象があった。(中)
- ・ 人権に関する勉強が主な内容だった。病気（感染症）などによる差別などについて学んだ。(中)

- ・ 部落差別について勉強した記憶がある。(中)
- ・ 中学校は、人の生き方について話をきいたりした記憶がある。(中)
- ・ 通常の教科とは違い、今後社会で生活していく中でどうように対応していったらよいのかということや、自らをどのように改善する必要があるのかを学べるようなもの。(中)
- ・ いじめで自殺してしまった子のお母さんがいじめをなくすという講演できてお話をしてくださって、印象に残っています。(中)
- ・ 内容は良いものをあつかっているのに、生徒の聴く耳であったり、単純に道徳をあつかった授業数が少なかったように感じる。(中)
- ・ マナーやルールが多かった。先生はそれほど力を入れていなかった印象である。(中)
- ・ 小学校と同じくです。時間数はとても少なかったので、狭く深くという感じで、自分について考えることが多かったです。(中)
- ・ 友人、親、お年寄り、障がいを持った子など、それぞれに対するちゃんとした接し方を学んだ。(中)
- ・ 中学校ではいじめというものについて中心に、授業を進めていたような記憶がある。(中)
- ・ 「過去に起こった事件について自分の考えを述べる」タイプのもので印象に残っている。小学校とは違い、ビリビリした真剣な雰囲気だったのを覚えている。(中)
- ・ 人としてどのように生きていくのかということをよく学ぶことができた。(中)
- ・ イジメについてや、部落差別の学習を行った。(中)
- ・ 差別の話をした。(中)
- ・ いじめについての授業を受けたと思います。いじめを無くすためにまずいじめを知ることとはとても良いことだと思います。(中)
- ・ どうすればいじめはなくなるのか、どうすればいじめようなんてことを思わなくなるかのようなことについてクラスで話し合いをしたことをおぼえているが、私は根本の原因は親 - 先生などの教育者にあるため、子供に考えさせることは大切だとは思ったが少し違う気がしていた。(中)
- ・ 差別などの話をしました。話しあう時間はあまりなかった。(中)
- ・ 周りの人との人間関係についての話が多く、イジメとかの内容が多かったと思う。(中)
- ・ 被差別部落について学びました。正直なところ被差別部落についての理解は深まりました。(中)
- ・ 命の大切さについて学ぶことができました。(中)
- ・ よりモラルやマナーを重視したものになっていた。(中)
- ・ マナーやモラルについて教えられた気がします。それがどういう方法だったかは覚えていません。(中)
- ・ 新聞の記事を使って現代社会でどんなことが起きているのかをやった。いじめなど。(中)
- ・ 中学が荒れていたのも、風記についての話題が中心だった気がします。(中)
- ・ 周りとのコミュニケーションのとり方や、それを通して自分を見つける(理解する)ような時間だったように思います。(中)
- ・ ほとんど人権に関することだった。(中)
- ・ 家族の役割について学び、両親に感謝の気持ちを持つということの大切さを実感できました。(中)
- ・ 年に1度「人権集会」というものがあつたり、小学校のときよりも深い内容を扱うことが多かつたりと、感受性豊かな思春期の学生らしい授業だと思った。(中)
- ・ 人権や差別についての授業が多かった。どうしてこのような差別が生まれてしまったのか。歴史と関連しながらやっていたので深まった。(中)
- ・ 将来のことについて考えなければならなくなる時期だからか、自分自身のことや、人との関わり方について考える内容のものが多かった気がします。(中)
- ・ 小学校の延長で、自ら考える時間、それを他の人と共有する時間が増えた授業だった覚えがある。(中)
- ・ 将来の夢に向けてのプランの歌詞から感じること。(中)
- ・ いじめ等の後ろ暗い話が増え、自分の中でも授業の意義を少し理解するようになりました。非道徳的なシチュエーションのパターン学習と捉えていました。(中)
- ・ 同和教育について受けた授業はためになった。平和とか人権について主にやった気

	<p>がする。(中)</p>
学習活動・話し合いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校の頃は机をコの字に並べかえて、クラス全体でディスカッション形式をとっていたため、色々な意見を聞いたのが、自分の価値観の形成に少なからず影響があったと思う。(小)</li> <li>・ 意見はいろいろ考えるけど、発表するのが苦手だとすごく思える時間でした。(小)</li> <li>・ みんなで話し合う時間。(小)</li> <li>・ 友達とディスカッション、ディベートしたりするのは好きだったので楽しかった。(小)</li> <li>・ 人間の感情についてディベートした。(小)</li> <li>・ ある題についてみんなで考えてその考えを発表していく、あるいは班に分かれてディスカッションして学習していく。(小)</li> <li>・ 犬の話をした記憶があります。みんなで話しあった。(小)</li> <li>・ 意見を積極的に言える場だった。(小)</li> <li>・ 一回一回の課題が簡潔で取り組みやすかったです。「自由とは何か」という題の課題では、教室で様々な話し合がされて、各自の意見をまとめるという形で終えたのを覚えています。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的には小学校と同じだった。しかし、小学校の方が楽しかったと思う。(中)</li> <li>・ 担任の先生がもってきていた資料について意見を交換することで視野が広がったと感じています。(中)</li> <li>・ クラス内での話し合いが多かった。(中)</li> <li>・ 結構深いところまで議論が進んだ。(様々な議題で)(中)</li> <li>・ ディスカッションがあって、考えさせられた。(中)</li> <li>・ クラスの皆で話し合っていたイメージ。(中)</li> <li>・ 小学校よりも日常的にあるようなことについてをみんなで話しあった。(中)</li> <li>・ 色々ディスカッションをして色々な人の感じることや思うことをきけた。普段の何気ないことについて考えさせられたことを覚えている。(中)</li> </ul>
他の話を先に読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み物をよむのが好きだった。道徳の教科書をかってに読みすすめていた。(小)</li> <li>・ 道徳の時間は読み物をたくさん読める時間として授業内容よりも読本をずっと読んでいました。(小)</li> <li>・ 本(教科書)を読んで一人でいろいろ考えるのが好きだった。先生の解説のような話は、正直うっとうしかった。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勝手に副読本を読み進めていました。授業としての内容はあまり覚えていません。(中)</li> <li>・ 冊子を配られて、ただゆっくり読み合わせをしていたイメージ。冊子は面白かったから、勝手に一人で読んでいた。(中)</li> <li>・ 本がおもしろかった。意見がよくでて楽しかった。(中)</li> <li>・ 授業中は眠くてたまらなかったので、1人で読み進めていました。(中)</li> <li>・ 道徳の教科書がおもしろくて、ひたすら自分で読み進める時間だった。国語の教科書より、親しみやすくほっこりする内容だらけだった。(中)</li> </ul>
教師の考えへの誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生が生徒の意見を尊重してくれなかった。(小)</li> <li>・ 誘導尋問みたいいで、「答え」があるイメージ。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生が黒板に紙をはったり、生徒に問いかけたりしていたが、結局先生のほしい真面目な模範解答しか板書きしてもらえず、反論もできなかった。(中)</li> </ul>
正しい答えを求める学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建前ばかりで現実味がないことばかり教えられていた印象です。(小)</li> <li>・ 美しいことを言えば褒められる。現実的な話は好まれない。(小)</li> <li>・ どういう答えをすればいいのか、求められているのはこの答えだというのが暗に示されていて心の統制のように感じた。もちろん思いやりをもつ、などはいい事であるが、最初は子どもたちに素直な答えを聞いてもいいと思った。(小)</li> <li>・ 小学生ながらに「きっこう言うのが正しいんだろうな」と計算していました。道徳の教科書の物語はけっこうねらいがみえすいていた気がする。(小)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相当ひねくれた子供だったと思うが、結局大人たちがこういう子供になってほしいんだらうと冷めた気持ちを持っていた。(小)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ものごとの良し悪しが分かっていたので偽善的な内容になった。(中)</li> <li>・ 求められている答えがわかってしまって心にもないことを「正解」として発言？してしまったように思う。(中)</li> <li>・ 気恥ずかしくなる程キレイ事を推奨する科目。(中)</li> <li>・ 自分の状態もあったのか、偽善にみえて押しつけられている感じがした。自分の状態が落ちつくと人間関係・社会の中の自分を客観的に考えるきっかけとなった。(中)</li> <li>・ 小学校の時とは違い、クラス全体の中でこう答えるのが正解・美德というようなものがあり、自分の考えを言わされていると感じるときがあった(中)</li> </ul>
<p>当たり前のことや常識</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低学年の頃はきちんと考えていました。高学年になると、なぜこんな当たりまえのことを聞くのだろう？という印象でした。(小)</li> <li>・ ある程度のモラルを教えるものの授業という感覚であった。多方面の考え方というものは教えない。(小)</li> <li>・ 当たり前のモラルを学んだはずなのに、周りには全く学んでいる様子の見えない態度の人もいた。(小)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何のためにやるのかなあと思っていた。もう分かっているよ、という感じがしていた。でも教科書の中の話を読むのは好きだった。(中)</li> <li>・ 自分自身少しとがったところもあり、きれい事ばかりみんな言っていていやだなと思っていました。でも今思えば当時の自分の考えも決して間違った意見ではなかったと思います。(中)</li> <li>・ いまさらこんな時間とって何になるの？と思っていた。いわゆる「いい人」がとりそうな行動を考えればいいのだろうと思ひ、授業を通して何か道徳的なことが身につくとは思っていなかった。(中)</li> <li>・ 道徳の授業自体の印象がとても薄い。一般常識を言っているだけのように感じていたと思う。(中)</li> </ul>
<p>教師による授業の違い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何をしてたのか詳しく内容は覚えていないが楽しかったような記憶があり、先生により差が大きかったように思う。(小)</li> <li>・ 心のノートを使っていたと思う。教材も先生によってまちまちだったと思われる。(小)</li> <li>・ 心のノートというものを使ったりしていたが、一人の先生は、ある人物の生い立ち(決して有名な人ではない)に関して学んで感想を書くような授業だった。(小)</li> <li>・ ガンコちゃん、さわやか3組等をみた。先生のお説教。教科書を読んだ。外で遊んだ。先生が自由に使える時間のようなイメージ。(小)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生によって、色々な授業をしてくれたイメージ。先生によって差があって、印象が強いものと弱いものがある気がする。(中)</li> </ul>
<p>記憶にないこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あまり覚えていません。(小)</li> <li>・ 道徳の時間があったことしか記憶にありません。(小)</li> <li>・ まったく覚えていません。(小)</li> <li>・ 道徳の本を使って、考えた事を書く授業でしたが、授業を受けた記憶は残っていますが、内容はほとんど覚えていません。(小)</li> <li>・ 道徳の時間があったことは覚えていますが、内容は忘れてしまいました。記憶に残っていないということは、あまり興味がわかかなかったのだと思います。(小)</li> <li>・ とにかくよく考えさせられた覚えがある。内容に関しては正直ほとんど覚えていない。(小)</li> <li>・ 内容は覚えていないが大切だと感じていた記憶がある。(小)</li> <li>・ 不定期であったが教科書を使用して行っていた記憶はある。ただ、どのような内容であったかの記憶はない。(小)</li> <li>・ あまり道徳の時間に道徳をやった覚えがない。(小)</li> <li>・ 内容については詳しくは覚えていません。しかし、その時、私は授業を受けて、何かしら考えたと思う。そしてその時考えたことは、何かしら、今の私をつくって</li> </ul>

	<p>と思う。(小)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何か白々しい感じを抱いていた気がする。自分のことを紙にかいたことは覚えている。けれどあまり覚えていません。(小)</li> <li>・ あまり覚えていない。感想をかくみたいなものだった気がする。(小)</li> <li>・ 内容はほとんど覚えていないが、人に優しくしなければいけないと思ったことを覚えている。(小)</li> <li>・ 大学入学以降、色々と考える機会があったため、それらとの混同でもうはっきりしません。(小)</li> <li>・ 授業自体があったのは覚えているが、積極的に受けたことがないのであまり覚えていない。父母・近隣への老人へ手紙を書いたことがあったが、やる気はなかった。(小)</li> <li>・ 学校が荒れていて授業らしい授業はしていない気がする。(小)</li> <li>・ いくつかためになる話もあったような気がしますが、正直あまり覚えていません。よくわからないテストで悪い点をとった記憶があります。(小)</li> <li>・ 正直あまりおぼえていないが、道徳色が全面的に出されるというよりは、心や感情の変化をくみとるといような、心理的・内面的なものを大切にしていたと思う。(小)</li> <li>・ 3つの小学校に行ったから覚えていない(小)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校に比べ、授業に対する記憶があまりない。(中)</li> <li>・ 教科書を使った。忙しくなるにつれて、減っていたような気がする。よく覚えていない。(中)</li> <li>・ 当時は文章を読んでいろいろ考え、感動していたと思うが、今となっては何も思い出せない。(中)</li> <li>・ 小学校と記憶が混乱しているだけかもしれないけれど、あまり何かした覚えがない。(中)</li> <li>・ 総合の時間などと混同してしまったのか、"道徳"という授業をしたことを正直なところあまり覚えていません。(中)</li> <li>・ あまり覚えていません。私立だったからやり方がちがうのかもしれない。(中)</li> <li>・ ただたださわいでいた。何をやったか覚えていない。(中)</li> <li>・ 学年ごとに目標が決まっていたけど、いまいち何をやったか覚えてない。(中)</li> <li>・ 中学校での道徳の時間は何も印象が残っていない。自分にとってプラスになる何かがなかったと思う。(中)</li> <li>・ どんな授業だったか全く覚えていない。先生が何か良いことでも言っていた気がするが、その程度にしか思っていなかった。(中)</li> <li>・ 私立だからだろうか、少なくとも受けた記憶がない。しかし、問題が多いのも中学時代だったので、できればやって欲しかった。(中)</li> <li>・ 中1の担任が日頃から色々と言っていたことが印象的で人生の参考になっている。授業自体の記憶はあまりない。自分の考え方がそこそこやさぐれていた時期。(中)</li> <li>・ 正直、道徳をしたことも覚えていません。無関心になっていました。(中)</li> </ul>
<p>他の学習への変更の多さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳の教科書を使った覚えがなく、新品のまま捨てた気がします。道徳の時間を学級会に使っていたような気がします。(小)</li> <li>・ 道徳の授業といいつつ、別の授業をしていた気がします。(小)</li> <li>・ 自習だった。(小)</li> <li>・ けんかの処理。ドッジボールをやった。あそびをしていたイメージ。(小)</li> <li>・ 学活になったりして、あまり重要な授業のように感じていなかった。ゲームをしたり、昔話のアニメを見たり、ドッジボールをすることが多くて、本より実際にあそぶことばかりでたのしかった。(小)</li> <li>・ 道徳の授業に割り当てられた時間の多くが学級活動や遅れている授業の時間に振り替えられた記憶がある。(小)</li> <li>・ ドッチボールをしていた。(小)</li> <li>・ よく違う教科の授業に変わっていた印象がある。(小)</li> <li>・ 他の学級の活動にあてられる事が多かったように思う。例えば体育祭のクラス練習など。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の授業に比べて楽で労力が少なかったので、生徒の僕らとしては、休憩の時間と</li> </ul>

	<p>いう認識だった。受験期には自習の時間になることもあった。(中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学の時は、道徳の時間にはよく進路を考えることをした記憶がある。いろんな職業があることを知れたのは楽しかった。その他、席替え、学級会などに使っていた。(中)</li> <li>・ 基本的に学活。(中)</li> <li>・ 席替や学級活動に使われていたと思います。(中)</li> <li>・ 中学校の方がむしろないがしろにされていた。足りない教科の埋め合わせにされたことが多かったような記憶があり、きちんとした道徳の時間を行ったといったことは少なかったように思う。(中)</li> <li>・ しっかりとした「道徳の時間」の授業はあまりなかった気がする。お説教の時間というようになっていた。(中)</li> <li>・ 学級での話し合いや学園祭の準備などがほとんどで、道徳らしい授業はあまりなかった気がする。(中)</li> <li>・ "総合的な学習"の時間に割り振られることが多く、あまり覚えていない。(中)</li> <li>・ ほとんどやったことがありませんでした。(中)</li> <li>・ 人生において役立つことを教えられることもあったが、クラスの事務的な決めごとにつかわれることも多くHR的な意味合いがあった。(中)</li> <li>・ 目標とか考えたり、クラスの係決めに使われていた。(中)</li> <li>・ 何か他の作業に変えられていた。(中)</li> <li>・ 自習や合唱の練習といったものが多くあったような気がする。(中)</li> <li>・ HRなど?(中)</li> <li>・ 道徳の時間の印象は薄い。むしろ総合学習的要素が強かった。(中)</li> <li>・ 主に進路、職業研究を行ったりしながら、自分の未来について考えた。少し強制的な感じがしてイヤだった。(中)</li> <li>・ 総合の時間では文化祭の準備をしたり、楽しかった。(中)</li> <li>・ クラスの時間として、係決め、学活をしていました。修学旅行の下調べなど。時々教科書を読み話し合い等もしました。(中)</li> <li>・ 学活と同じような授業だった。(中)</li> <li>・ 他の活動にしばしばついやされることがあったので、少し残念だった。(中)</li> <li>・ 中学では道徳の時間はあったが、自習とかになることが多く、よく分からない。(中)</li> <li>・ 他の教科の遅れを取り戻すための、「空いた空間」。道徳らしいことはせず、補習や自習をした。(中)</li> <li>・ 道徳の授業は無かった気がする。もしくは、別のことをしていた(席がえ etc)(中)</li> <li>・ 道徳の授業はホームルームの時間にされることが多かった。例えば修学旅行の班決め他。(中)</li> <li>・ ある担任はテスト勉強の時間に、ある担任は授業をすることは稀に(いじめ等が発覚した際)行っていたが基本的にテスト勉強や何かの作業の続きをしていた。(中)</li> <li>・ 授業自体は設置されていたが、内実は生徒総会や行事の準備、テスト(定期テストではないもの)、講演会が行われており、それが無い時は自習の時間だった。(中)</li> <li>・ 道徳の授業はなかった。ロングホームルームの時間として利用していた。(中)</li> <li>・ ほとんどやっておらず、他の授業等でよくつぶされていた。たまにやるときも教科書を読むくらいだった(中)</li> <li>・ 他人が怒られる時間に費やされてしまっていた。(中)</li> <li>・ 中学では、道徳の授業は学活というイメージ・印象がのこっています。(中)</li> <li>・ HRの時間とくっついていてその延長だった。(中)</li> </ul>
<p>受けていないこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳の授業は受けていません。(小) ※私立学校出身の学生の可能性(分析者)</li> <li>・ 授業を受けたことはありません。(小)</li> <li>・ 道徳の時間という名前のもはなかった気がする。LHRというものがあって、その時に少しやっていたような気がする。(中)</li> <li>・ 「総合」の時間という名前で行っていたような気がします。(中)</li> <li>・ 道徳の時間はなかった。(多分、「奉仕の授業」として、駅前の清掃活動をしたのがそれにあたる)(中)</li> <li>・ 中高一貫校だったので、あまり道徳の授業はありませんでした。強いて挙げるなら、儒教について軽く扱った気がします。(中)</li> <li>・ 私立だったので、道徳の授業はなかったです。(中)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キリスト教の私立校に進学したため倫理という形でキリスト教について学習。その中でも愛についてなどはよく取りあげられていたイメージ。(中)</li> <li>・ 道徳の時間がなかった。しかし、不便していないのでそれで良いのかなと思った。(中)</li> <li>・ ミッションスクールだったので「聖書」という科目が道徳の代わりだった。聖書に出てくるキャラクターの言動の意味や理由を追求していく授業でとても面白かった。(中)</li> <li>・ キリスト教の学校だった為、道徳の時間はなく、代わりに宗教の時間がありました。中学生時代は"聖書"という授業タイトルでキリスト教について学び、高校時代は"宗教"というタイトルで他の宗教についても学びました。(中高一貫校でした。)(中)</li> <li>・ 私立で仏教校であったため、宗教的な授業は受けた。(中)</li> <li>・ 日本にいなかったのではありません。(中)</li> <li>・ 道徳はなく、プロテスタントの学校だったので、神父さんが来て聖書の授業がありました。(中)</li> <li>・ そもそも道徳という授業自体が無かったように思える。確か国語のコマの1つを道徳の単位として届けているという話だった気がする。(中)</li> <li>・ 「道徳」の授業はなく、「宗教」や「人権」の授業があった。宗教は教えてくださる先生によって異なったが、聖書の解釈やキリストの一生について学んだ。(中)</li> <li>・ 基本的にやらなかった。教科の勉強、授業を受けさせられていた。教育実習生がくるときだけ…年2回?くらい?だけやっていた。</li> <li>・ 私立の学校で「聖書」の時間に置きかわっていたので受けたことはありません。(中)</li> </ul>
そのほか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低学年の頃は先生からいわれたことう飲みにしていたが、高学年になってからは本当に考えられることは先生のいっていること一つだけなのかと懐疑的になった。(小)</li> <li>・ 先生が泣いていた。</li> <li>・ どのクラスにも「ガキ大将」がいて、その子に他の子らが集まって、みんなで遊んだり、色んな行動をしていた。(小)</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学ではそんなに重視されていなかったイメージがありました。(中)</li> <li>・ 自分の考えをもち、それを集団に発信する場。(中)</li> <li>・ 小学校のころより考えられるようになったが、なかなか自分の意見を発表できなかった。(中)</li> <li>・ 色々あって、中学では道徳の授業は成立しませんでした。(中)</li> <li>・ 小学校の延長線上、もう少し幅を広げ深みを出せば良かった。(中)</li> <li>・ 心に残っている内容のものもあれば、忘れたものもある。(中)</li> <li>・ 小学校とやり方は変わらなくて、内容は少しふざつだった。(中)</li> <li>・ 先生が怒ったのを覚えている。(中)</li> <li>・ 実践的な授業が多かった。(中)</li> <li>・ 思春期ということもあり、先生に対する反抗心が強くなっていったり、暴れる人がちらほら確認された。(中)</li> <li>・ 小学校に比べると内容の理解度はあがっていたが、やっていることはたいしてかわらなかったので特別な印象はない(中)</li> <li>・ 思春期真っ只中というのもあり、皆恥ずかしがったり、あえて良いことをわざとらしく言ったりする風潮があった。(中)</li> <li>・ 先生が騒がしくする生徒に手間取っていた印象の方が強い。話に引きこめる先生とそうでない先生がいた。(中)</li> <li>・ あまり真面目に取り組んでいる人はいなかったと思う。(中)</li> <li>・ 小学校より題材・内容が重かった。(中)</li> <li>・ 普段ふざけてばかりいる友達がこの授業の時だけは真剣に受けていて、最終的に、その友達の態度も少し変わった気がした。(中)</li> <li>・ ある道徳の授業で担任の先生がきれいになった記憶しかありません。(中)</li> <li>・ 中三の時の担任の先生が3つのしん「心」「信」「真」について卒業の時に話してくれたことが印象的です。(中)</li> </ul>

※ 一つの記述は複数のカテゴリに取り上げられている場合がある  
 ※ 具体例の表現はプライバシーの観点から一部に調整を行った



## (2) 好意度

好意度の全体の集計結果を図2と図3に示す。「好きだったか」と「ためになったか」共に、「覚えていない」という回答が小学校の約9%から、中学校では約20%に増加していた。また、「やらなかった」も小学校の約1%から中学校では10%に増加していた。

小中学校での傾向を比較するために、「好きだったか」と「ためになったか」共に、「やらなかった」「覚えていない」と回答されたデータを除き、5件法(5～1)として得点化して対応のあるt検定を行った(表4)。その結果、「好きだったか」( $t(430)=6.79, p<.01$ )、「ためになったか」( $t(420)=4.88, p<.01$ )ともに、小学校の方が中学校よりも得点が有意に高かった。

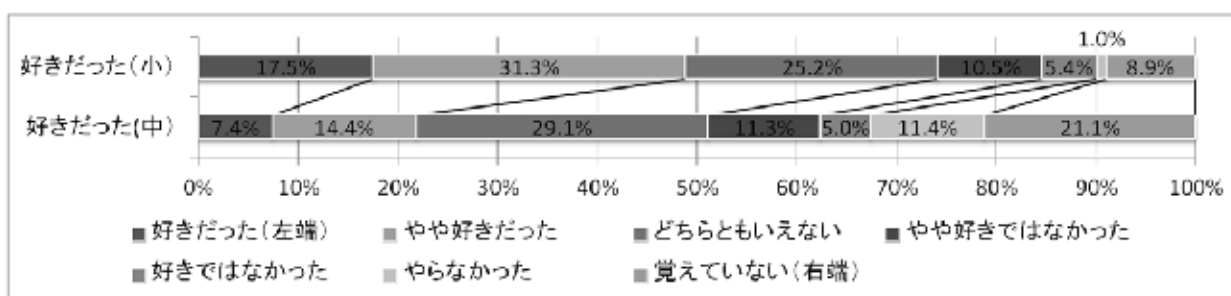


図2. 過去の「道徳の時間」が好きだったか (小:  $n=674$ , 中:  $n=672$ )

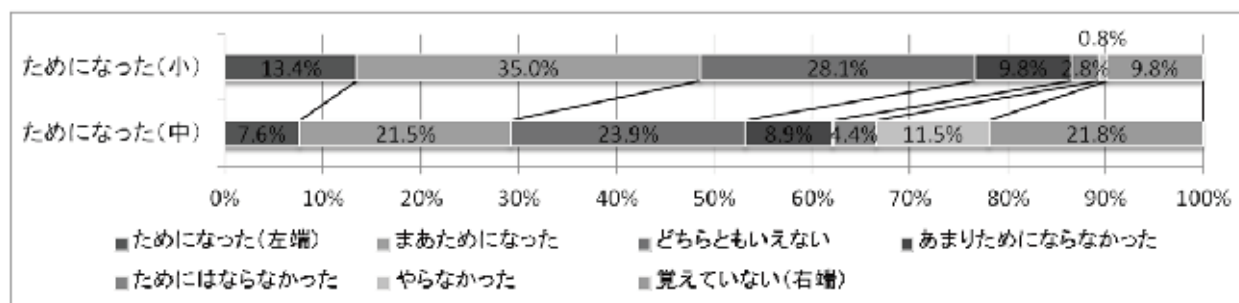


図3. 過去の「道徳の時間」がためになったか (小:  $n=671$ , 中:  $n=668$ )

表4. 全体的印象の記述統計

種類	詳細	小学校	中学校	t検定
好きだったか	全体	3.4 (1.1), $n=607$	3.1 (1.0), $n=453$	—
	t検定に使用	3.4 (1.0), $n=431$	3.1 (1.0), $n=431$	小学校>中学校
ためになったか	全体	3.5 (0.9), $n=599$	3.2 (1.0), $n=445$	—
	t検定に使用	3.5 (0.9), $n=421$	3.3 (1.0), $n=421$	小学校>中学校

※ 値は「平均(標準偏差),  $n$ =データ数」

※ 「やらなかった」「覚えていない」を除いた影響で  $n$  がセルによって異なっている

「好きだったか」と「ためになったか」という2種類の好意度間の関係を検討するために相関係数を算出し、無相関検定を行った(表5)。その結果、小学校の中で $r=.48(p<.01)$ 、中学校の中で $r=.48(p<.01)$ と中程度の有意な正の相関係数が得られた。また、小学校「好きだったか」と中学校「好きだったか」では $r=.51(p<.01)$ 、小学校「ためになったか」と中学校「ためになったか」では $r=.47(p<.01)$ と、中程度の有意な正の相関係数が得られた。

中学校の授業に対する好意度を予測する変数を検討するために、基準変数を中学校における「好きだったか」(もしくは「ためになったか」)、説明変数を残りの3変数とする重回帰分析を行った(ステップワイズ法)。VIFは1.2~1.6の範囲であったため、多重共線性は見られなかったと判断した。結果を表6に示す。

小学校の授業に対して高く「好きだった」、低く「ためになった」と回答し、中学校の授業に対して高く「ためになった」と回答している人ほど、中学校の授業に対して高く「好きだった」と評定していた。また、小学校の授業に対して高く「ためになった」と回答し、低く「好きだった」と回答し、中学校の授業に対して高く「好きだった」と回答している人ほど、中学校の授業に対して高く「ためになった」と回答していた。

表5. 各好意度間の相関

	1. 小_好き	2. 小_ため	3. 中_好き	4. 中_ため
1. 小学校_好きだったか		0.48	0.51	0.14
2. 小学校_ためになったか	$n=595$		0.26	0.47
3. 中学校_好きだったか	$n=431$	$n=423$		0.48
4. 中学校_ためになったか	$n=422$	$n=421$	$n=443$	

※ 表の右半分は相関係数。すべて1%水準で有意

※ 表の左半分はデータ数。

表6. 中学校の「道徳の時間」の各好意度を予測する重回帰分析

基準変数	説明変数の標準偏回帰係数				調整済み $R^2$
	小_好き	小_ため	中_好き	中_ため	
中学校_好きだったか	.56	-.23	—	.50	.48
中学校_ためになったか	-.36	.49	.54	—	.43

※ 標準偏回帰係数はすべて1%水準で有意

※ 標準偏回帰係数の絶対値は予測力の強さと示し、正負は予測の方向を示す

※ 調整済み  $R^2$  は予測力の強さを示す

### (3) 心に残るお話・授業

「心に残るお話・授業」は、小学校 236 件、中学校 171 件の記述があった。具体例を筆頭の文字の「あいうえお順」にして表 7、表 8 に示す。「あいうえお」順は表計算ソフトの出力に準じた。具体例の表現はプライバシーの観点から一部に調整を行った。

なお、「覚えていない」、「説明できない」、「他の教科と区別ができない」、「授業がなかった」、「特になし」という回答は、小学校 366 件、中学校 416 件だった。

小学校に関する回答では、10 件以上の回答が見られたものとして、いじめに関するもの(例. 「いじめについて」)、心のノートに関するもの(例. 「心のノート」)、テレビ番組に関するもの(例. 「NHK 教育のテレビを見た」)、乙武洋匡氏に関するもの(例. 「乙武さんの話」)等があった。

中学校に関する回答では、10 件以上の回答が見られたものとして、いじめに関するもの(例. 「いじめ」)、人権や差別に関するもの(例. 「差別についての授業」)があった。

表 7. お話・授業の具体例 (小学校 236 件)

お話・授業の具体例 (小)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● "嘘"に関する話で、嘘にも良いもの悪いものがあるというもの</li> <li>● 「祈りの手」</li> <li>● 「今の自分」について色々な質問に答え、卒業時に比較</li> <li>● 「エンジ色のネクタイ」という話</li> <li>● 「オトちゃんルール」(乙武さんの「五体不満足」より)</li> <li>● 「さわやか3組」という番組をみて自分のことを考えた。</li> <li>● 「自由とは何か」</li> <li>● 「ぶっちゃけトーク」という自分の意見や思っていることを発表する時間があった</li> <li>● 「勇敢な少年」という小説(?)を用いた授業</li> <li>● 『さわやか3組』という番組を観て、話し合う授業</li> <li>● ①自分たちによく似た話を読んだ授業。クラスで仲の良い男子と女子がいてひやかされ、ギクシャクする話で、小6の時に読んだ。衝撃的だったのは当該の男の子が鼻血を出してしまったこと。きっと自分の話を読んでいるようでドキドキしたのだろう。②小3の頃道徳で自分が1時間で21回も発言した授業。自分の自信につながった。</li> <li>● 1つのお話をよんで感想をかく。</li> <li>● 2分の1成人式</li> <li>● 9.11について先生が話したのをよくおぼえている。</li> <li>● AIDSの話について</li> <li>● NHK教育のテレビを見た。</li> <li>● ああ、無常</li> <li>● ああ、無情…数週間かけて心情をクラスで話しあった。</li> <li>● ああ無情のジャンバルジャンの話</li> <li>● アイスブレーキング</li> <li>● あい染め</li> <li>● 赤信号を無視して渡って、それを妹に見られたお兄ちゃんの話</li> <li>● 足が不自由だった子供が努力でオリンピック銀メダルをとった話</li> <li>● あそびの約束におくってしまった子と、それをまっていた子、双方の日記をよんで、考える授業</li> <li>● いじめ</li> <li>● いじめに関しての話はとても印象に残っている。</li> <li>● いじめについて</li> <li>● いじめについて</li> <li>● いじめについて</li> <li>● いじめについてのクラスの話し合い。</li> <li>● いじめの話</li> <li>● いじめのはなし</li> </ul>

- いじめの話
- いじめの話し合い
- いじめの問題関連の授業
- いじめ問題
- いじめ問題。社会マナー
- イチロー
- イチローの話
- 命に値段をつける授業
- 命のあさがお
- 命のおはなし
- 命の重さ
- 命の大切さについての授業
- 命の大切さや、差別のことなどについて、ディスカッション授業
- いのちの話
- 妹がいじめられて死んでしまった話
- ウォルトディズニーの話。ミッキーマウス誕生の話に感動した。
- 宇宙船地球号
- うらに書いてあることと同じです。(分析者補足:「教科書を使って、物語を用いた教育も受けたが、野菜や動物を育てたり、魚をとりにいくなどして、自給自足でみんなと協力してごはんを作る授業がとて楽しかった。」)
- 映画「ポセイドン」の話
- えびフライ。東南アジアのエビ養殖
- お母さんのお耳は日曜日(?)という話
- お手伝いをした子供が親にお金を要求⇒親が子供に食費0円、治療費0円…を請求。というお話。
- 乙武さんの話
- 乙武さんの幼少期の話
- 落としたコンタクトレンズを一緒に探してあげる話
- 乙武さんが来ました。
- 乙武洋匡さんが子どもの時の体験談を扱った題材を学習したことが印象的でした。
- おとちゃんルール
- オトちゃんルール(「五体不満足」より)
- 乙武さんの小学校時代の友達とのルールの話
- おばさんが重い荷物をもって、階段を登っている時、助けてあげようと思いつつ、助けてあげられなかったこと
- 思いやりについて
- 表にも書きましたが小1のときのクラスのいじめについて、たとえ話を使って戒めたこと。
- "表のもの(分析者追加:「教科書にある話を読んでみんなで考えた。⇒友達の大切さなどを教えられた。」)"
- 外国から来日した方を「ガイジン」と呼ぶのはよくないという話
- 外国の貧しい女の子とパンの話(教育実習生の授業だったので)
- 傘がなくなった話とエイズの話
- 傘が盗まれた話、印象は残っている
- 家族
- 家族について
- 学校で飼っていた動物にまつわる話
- 体が弱い子が先生にすすめられてなわとびをはじめ、二重とびの世界チャンピオンになった話
- がんこちゃん
- がんこちゃん(テレビ)
- ガンコちゃんのテレビで、ケンカしたあとはすぐに仲直りして相手を認めること
- がんこちゃんをみた
- ガンジーの話
- 簡単な内容ばかりだったという記憶しかありません。
- 危険察知
- きつねのお客様
- 木に学べ(西岡常一)
- 教科書が主人公で、大切に使ってね!という話
- 教科書の題材を読み、賛否に分かれて討論をしました。

- 教科書を使ってその話を全員で考える。
- 教科書を読んで考える授業
- 教材の名前は忘れましたが、青い目の子どもは偉い！と教えこんで、クラスの青い目の子が青い目ではない子どもにどのような態度を取りはじめるかの研究ビデオ（この授業はためになりました）
- 金さん銀さんのお話
- 銀の皿
- くもの糸
- 暮らしについて
- クラス全員分の長所を挙げたこと。
- クラスでブタを買ってその肉を食べるという話
- クラスのお話を読んで、意見を言い合ったこと。
- 黒柳徹子さんのお話
- ケガを押し通して銀メダルだったスポーツ選手の話
- ケンカの原因について
- 剣道の試合の話、けがを負っている敵にたいして自分はどうか？
- 原爆を通して学ぶ命の大切さ
- 交通事故で車いすになった女の子が通りがかりの親子に「悪いことしたらあななるからね」と言われたという話
- ゴールデンキウイの話
- 心あたたまるはなしを読む授業がよかった。
- 心のノート
- 心のノート
- 心のノートがつまらなかったです。
- 心のノートで自分と向きあった。
- 心のノートでの自分の一生をふりかえる。
- 心のノートに「布施柿」の話が載っていて、自然との共生という意味でなるほどと思った。
- 心のノートに書きこみをしていた印象が強い。
- 心のノートの・・・なんだったかは忘れました。友達の悩み相談的なもの
- 心のノートの自分についてのページ。自分が何を考えているか整理できた。
- 心のノートの余白に“先生に伝えたいこと”を書いて、それに対する先生からの手紙がうれしかった。
- 五体不満足について。
- 五体不満足の男（女？）の子を、クラスで一つになって登山に連れて行く話
- 困っている人を助ける話
- ゴミ収集車の話
- ごんぎつね
- ごんぎつね
- 最初の女性宇宙飛行士、向井千秋さんのお話
- 差別
- さわやか3組
- さわやか3組
- さわやか3組などのTV番組をみて討論
- さわやか三組
- 算数
- 自己紹介のやり方のようなことをやった。
- 詩の内容をもとに考える授業（タイトルは思い出せません）
- 自販機を壊す話。
- 自分・友達のいいところを探そう。
- 自分と年が近い子が主人公の話は、特に興味をもった気がします。
- 自分の今思っていることを「心のノート」に書いた。
- 自分のプロフィールを書く、自分について知る授業
- ジャン・バルジャン（銀の燭台）
- 授業中、クラスのモラル的なことについて先生が永遠と語ったこと
- 授業はあったと思うけれど、なにかしら教科書の話を読むぐらいだったと思う。
- 小、中どちらか覚えていませんが、高齢者に対する“親切心”についてのお話を読んだ気がしました。
- 障害をもった人とかかわりについて
- 小学生ながらに先生がいじめられる方にも少しは要因があると言った言葉は深く考えた。
- 小学校が豚を育てる映画を見たこと

- 正直50円? もらいすぎたおつりを返しに行く話
- 正直に話すこと
- 消防工の話を読んだ
- 将来の夢を考えること。
- 植物や水、氷に「ありがとう」等の良い言葉をかけるときれいになるみたいな話
- 初代ドラえもんの声優、大山のぶ代さんの話
- 詩を読んでもらった。
- 新幹線で出会った人に助けてもらい恩返しする話
- 人権問題のような授業
- 新聞の1ページのお話からクラスで考える。
- 親友とは何なのかという授業
- 巣から落ちているひなを拾ってあげるか否か
- 巣から落ちてしまった鳥を飼ったら死んでしまった話
- 図工
- ずるをして叱られた子の話
- 戦争
- 戦争に関する話
- 戦争のお話
- 戦争の話
- 戦争の話
- 千羽鶴
- 他人を気遣って自ら恥をかきに行った王様の話
- 誰かものが盗られた時に全員で話し合った授業
- 男子生徒が急に女の子に水をかける→真相は、女の子がもらっていて、それを隠すため
- 地域のおばあちゃんやおじいちゃんの話聞く。
- 地域の方と交流を行う授業
- 地域の人と、料理をつくって食べた。
- 地域の人を呼んでの授業
- ちいちゃんのかげおくり
- ちいちゃんのかげおくり、平和学習
- 地球と環境についてマンガをかいて亡くなった小学生の子の話を読んだこと
- 遅刻しそうなサラリーマンの横を原付で素通りした上司の話。「やさしい」とは何か。
- ちびまる子ちゃんの話
- チャップリンの苦勞と奮起と成功
- 抽象的ですが、「人のために何かをする」系のお話はじ〜んときました。
- ディズニーランドのお子様ランチの話
- 伝記系の話はまあまあためになった。
- 電車でアメをおとした子を手伝うという話を読んだ批判
- 電車で席をゆずる話
- 電池が切れるまで
- 盗作をした話
- 道徳ノートみたいなものに、将来の夢などを書く。
- 道徳の教科書を自分で読むのは好きだった。
- 道徳は本を読んだり、あまり記憶にありません。
- 童謡に隠された意味
- とっさについてしまった嘘を悔やむお話を読んだこと
- 友達とけんかするお話
- 友達とけんかをしたときのなかなかおりの話
- 友達のクレヨン(色鉛筆)を折っちゃう話
- 納得できない授業があった。
- なんか赤ちゃんが公共の場で泣くことが迷惑かどうかみたいな話
- 肉をくわえた犬が川に映る自分を見て、映った自分の肉を取ろうとする話
- 吐いてしまった子に対してよけずに肩をさすってあげたり片付けたりするお話
- 葉っぱのフレディを読んだこと
- 花咲か山
- 花咲き山
- 話を聞いて考える。心のノート

- はなしをよんだ。
- 母と子どものおこづかいの話
- バングラディッシュから来た生徒が手でカレーを食べる話。インパクトがありました。
- 阪神大震災後の被災者の人々の助け合いの話
- バントのサインを無視した。
- パンドラの箱？のような話が心に残っています。
- 被差別部落のことについて
- ひたすらビデオを見ました。
- ビデオを見た。
- 人の命について、しつけに近いものから自分が考えるものだった。
- フィンガーボウルの話
- 部落差別
- 部落差別
- 部落差別についての講演会
- 部落差別の成り立ちと現在のビデオ
- ほえることのできなくなった犬の話
- 毎回の授業ごとに学ぶことが多かったのは覚えているけれど内容までは思い出せません。
- マナーについての授業
- 水についての話
- 水に毎日悪口バカとか死ねとかを言うと水が汚れる現象から悪口は言ってはいけない。
- 水俣病について（公害病）
- 身のまわりの出来事を題材に話し合い、ディスカッションをした。
- 身分の低い人が食事中に手を洗う為の水を飲んでしまい、恥を感じさせないために妃様も合わせて飲んだはなし
- メロス
- もちもちの木
- 物語を読んでそれぞれの立場から話し合いをする。
- 物ごとを一方向からではなく、いくつもの方向からみることが大切だという話
- モンゴルの話
- 野球チームのお話
- 野球で送りバントの指示がでたのに強振し、ホームラン。しかし監督は…。
- 谷津干潟を一人で掃除したおじさんの話
- 雪かきしてがんばって校門を探しだしたやつ
- ユニセフ活働（該当募金など）
- 良い所を探し合う授業
- 理由をきかずに怒ってはだめだということ。相手の気持ちをきくこと
- レ・ミゼラブルの司教の情けについて
- 歴史の授業の中で土器をとりあげて自分たちで作ったこと
- 老人ホームに行ったという話を讀んだ授業
- わたしのいもうと

表 8. お話・授業の具体例（中学校 171 件）

お話・授業の具体例（中）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● "知ったかブッタ" というキャラクターを使って考えた。</li> <li>● 「2ちゃん」とある記事?で「ありがとう」という言葉についての話。</li> <li>● 「カーテンの向こう」というお話。ウソをつくのは本当に悪いことなのか考えさせられました。</li> <li>● 「心のノート」というものに各自で何かを記入するようになっておりました。</li> <li>● 「自分」について紙に書いてまとめる授業</li> <li>● 「ノアの方舟」でノアが他人を見捨て舟に乗る時の心情</li> <li>● ×（分析者補足：記入のママ）</li> <li>● アイヌに関すること</li> <li>● アサーション</li> <li>● あるテーマについて2つの派閥に分かれて討論する。</li> <li>● いじめ</li> <li>● いじめ・命</li> <li>● いじめなど</li> <li>● いじめについて</li> <li>● いじめについて、話し合い</li> <li>● イジメについてのお話</li> <li>● いじめについての講演</li> <li>● いじめについての話</li> <li>● いじめの「傍観者」という立場についての話</li> <li>● いじめの問題について</li> <li>● いじめを受けた本人からのお話</li> <li>● イチロー、為末大などスポーツ選手にスポットをあてたプロジェクトXを鑑賞し、気持ち、思いを考えるなどした。</li> <li>● 命の大切さを伝えるような『旅立つ日』というショートストーリーを見た。</li> <li>● いのちの話</li> <li>● 色々な状況の子がいるのだということを知った。</li> <li>● インターネット問題</li> <li>● ウォルトディズニーの話</li> <li>● うまく断る方法</li> <li>● 馬の話</li> <li>● 映画（一部?）を見た。</li> <li>● 偉人の話（誰だったっけ?）</li> <li>● 公と私について→公の場でのふるまい、電車の中での事など、</li> <li>● 沖縄戦に関する授業</li> <li>● おつりの話</li> <li>● おばあさんに、戦争中のお話をしていただいたこと</li> <li>● おばあちゃんが死ぬ話</li> <li>● 表のもの（分析者補足：「部落差別や病気（公害など）についてやった。⇒私の周りにはそのようなことはなかったため、衝撃を受け悲しい気持ちになった。」）</li> <li>● 表面に記述（分析者補足：「命」に関する授業を受けたことを覚えている。小田和正『言葉にできない』の映像教材を用いたもので、号泣した覚えがある。とてもいい授業だった。」）</li> <li>● 海外の医療団体へ行くか、日本で恋人とすごすか、という話</li> <li>● 学活的行動、レク、学校での問題について考える。</li> <li>● 格言など生き方</li> <li>● 家族と仕事とどっちが大事か?⇒比べられないものもある。</li> <li>● 家族について</li> <li>● 合唱コンクールについて</li> <li>● カトリック系だったので、宗教の授業だったと思います。</li> <li>● 環境について</li> <li>● キング牧師についてなど</li> <li>● くもの糸</li> <li>● クラスでいじめが問題になっていた時に扱った、いじめについてのストーリー</li> <li>● クラス内で「やさしい人」を10人程、「メンタルの強い人」を1人えらぶ。その10人で外側を向いた円を手をつないでつくり、5分間メンタルの強い人の「いれてくれ」というおねがいを拒めば勝</li> </ul>



ち、というゲーム。輪はしだいに小さくなり、「いれてくれ」と頼む人はこびへつらって頭を下げるようになるか、おねがいしなくなる。

- クラス内での問題点（いじめ）が中心で、好きではありませんでした。
- クラスのいじめについての話し合い
- クラスの問題点
- ケーキ作りの職人さんのドキュメンタリー、将来の夢について考える授業
- 原爆について
- 原爆被害者のビデオ
- 恋と憧れの違いの話
- 校長先生がプロジェクトXのDVDを見せてくれた。
- 個々の価値観の違いについて
- さだまさしさんの償いという歌の歌詞について
- 差別
- 差別についての授業
- 差別の話
- 差別問題（特に部落差別）を取り上げた授業
- さるとバナナの話し
- 実際の患者が外の様子を他の患者に語る話
- 死について考える。
- 自分が愛されたいならまずその人を愛しなさい。愛の種類とか。
- 自分史についてまとめ、製本した授業
- 自分たちが気になることなどを調べた
- 自分の地元の高校がモチーフになった話をビデオで観た。
- 自分の短所を長所にしよう。（実際に直すのではなくプラス思考なコトバに）ex しやべるのが遅い  
⇒話し方がおだやか
- 自分の中のヒーローは誰か考える話
- 清水商業サッカー部元監督大瀧雅良さんのドキュメンタリー番組を見て信念や生き方について色々考えた授業
- 地元の被差別部落の話
- 社会の授業が楽しかった。
- 修学旅行に制服で行くか私服か。（制服主張の人は変わり制服で行きたかった）
- 宗教、「釈尊の教え」
- 授業ではなかったが、私が"人が何故生きるのか"問うたとき、"人は人のために生きるのだと答えて頂いた。
- 障害のある人の話
- 小学校と同じような授業だった。
- 将来の目標とかを考えるきっかけにはなった。
- 職業体験
- ジョン・レノンの『イマジン』を聴いて、今の世界を考える。
- 人権委員会の人権集会
- 人権教育
- 人権集会でとりあげられた、いじめや差別をとりあつかったビデオ
- 人権に関するビデオの鑑賞
- 人種の話をした。
- 進路
- 進路決めの時間でした。
- 神話を自分で作る授業が楽しかったです。
- 数学
- ストリートチルドレンの問題を見て、心がいたんだ。
- すみません ないです。
- 生活保護の考え方について
- 聖書をよく読んでいた。
- 生物
- 席替え
- 全国水平社について西光万吉の生涯 実際にその地へ行く。
- 先生がホームレスについて話し、命の大切さを語った授業。
- 先生の中学生時代の話（不登校でゲームばかりしていた）

- 先生の昔話
- 戦争について
- 戦争について
- 卒業式のとき
- その先生がハドミントン部を全国大会につれていったときの話。
- 祖母を介護する話・・・だったと思う。
- 高尾山
- 担任の先生のクラス替えのメッセージ
- 地域の人との交流。
- 小さい目標を立ててクリアしていく授業
- 中学生の女の子にバケツの水をかけた男の子がいて、でもそれは、もらしてしまった女の子を守っただけであったということが卒業後、大人になってからわかった、という話。その男の子の行動と女の子を守るため、卒業のときでさえも水をかけたわけを先生に言わなかったということがすごいなと思った。
- 中学の先生は無条件にいじめ禁止と始まりの時言ったことは印象的だし安心した。
- ディズニーのトイレの清掃員のお話
- ディズニーランドでのキャストの働きについて
- ディズニーランドの子どもがなくなったものをキャストが探す話
- ディズニーランドの清そう員の話
- 手品師が公演でなく、子どもに対して手品をするを選ぶ話
- 手品師の話
- 電車内のマナーについての話
- 電車の席をゆずるか。
- 電車の中で飲食するのはありかなしか。
- 電車の中でおばあさんに席をゆずるかゆずらないかの話
- 電車のボックス席で向かいに座っている人にコーヒーこぼしてしまってどう対処するかみたいな話
- トイレそうじの人のお話
- 同上（分析者補足「抽象的ですが、「ひとのために何かをする」系のお話はじーんとききました。）」
- 同上（分析者補足「はなしをよんだ。」）
- 道徳かどうか定かでないが、AIDSにかかった人の講話
- 道徳的なテーマについてディベートをした。
- 道徳の時間は違うことをしていた気がする。
- 同和教育
- 同和教育／教科書にローカルなものが多かった。
- ドラッグ・お酒・タバコ
- 夏樹と真一の話（ためになったかはわかりません）。
- バイク事故を起こしてしまった男がつぐないとして何年もお金を振込んでいた話
- 話し合い
- ハンセン病による差別について
- ハンセン病の人の講演
- 被差別部落について
- 被差別部落についての授業
- 被差別部落の話
- ひっこしてってしまった女の子を想う、男の子の話……なんだったのだろう…。
- 病院の壁の話（タイトルは忘れた）
- 病気の男の子とその母親との闘病記
- 表面に書きました。（分析者補足：「お話のタイトルは忘れてしまったのですが、病室の窓の外の素敵な世界をお話するおじさんが嘘つきだったという話（同じ病室の仲間を勇気づけようとしていた）という話は今でも印象に残っている。確か外はレンガの壁だったんです。）」
- ヒンドゥー教について。
- 深く考える時間がなく、思い出せない。
- 部活の顧問の先生（部落差別を受けていた）の講話
- 仏教の話
- 部落差別
- 部落差別
- 部落差別
- 部落差別
- 部落差別に関する授業

- 部落差別について
- 部落差別についての授業…高校と混ざってしまっているかもしれませんが。
- 部落問題についての授業
- ブラック・ジャック／尊厳死について
- プロジェクトXの心臓のバチスタ手術を見た授業
- 平和学習。平和博物館の方の話を聞いた授業
- 平和教育で戦争の歴史について学んだこと
- 偏見についての授業（サーカス?のお話）
- ホテル・ルワンダ
- 本を一冊読む授業
- マナーやモラルについての授業が少なかった。
- 真理先生
- 耳が聞こえない人の話
- もののけ姫の観賞会
- 代ゼミ講師吉野氏の半生
- よのなか科
- ら致問題について調べてまとめたこと

## 5.考察

### (1) 「道徳の時間」の幅広い側面

本調査では、「道徳の時間」に対する全体的な印象として8つの大分類と25の小分類が得られた。八田(2004)、植田(2005)と比較すると、「有意義な授業(肯定的)」「国語のような授業」「心のノート」「他の話を先に読むこと」「教師による授業の違い」の5つの分類が本調査によって得られたと考えられる。そのため、本研究によって、道徳の時間をより幅広い側面で捉える分類が得られたと考えられる。

### (2) 「道徳の時間」の実施率の差

小学校での授業に対する評価に比べて、中学校での授業に対する評価では、「道徳の時間」を「やらなかった」「覚えていない」という回答が多かった。また、全体的印象の自由記述において、「記憶にないこと」「他の学習への変更の多さ」「受けていないこと」は中学校の方が多かった。そのため、本調査の対象である大学生が小中学生だった時期において、中学校では「道徳の時間」の授業を小学校よりも受けていなかったことが考えられる。

### (3) 心に残るお話・授業

「心に残るお話・授業」は、小学校236件、中学校171件の記述が得られた。そのため、小学校の方が、中学校に比べて印象的なお話・授業が多いことが示唆される。また、小中学校で共通して10件以上の回答が得られた内容として、いじめに関するものがあつた。そのため、(1)いじめに関するお話や授業は、児童生徒の印象に残りやすい可能性や、(2)いじめに関するお話・授業が多く行われている可能性が考えられる。

### (4) 中学校での好意度の予測

重回帰分析の結果、小学校の授業に対して高く「好きだった」、低く「ためになった」と回答し、中学校の授業に対して高く「ためになった」と回答している人ほど、中学校の授業に対して高く「好きだった」と評定していた。また、小学校の授業に対して高く「ためになった」と回答し、低く「好きだった」と回答し、中学校の授業に対して高く「好きだった」と回答している人ほど、中学校の授業に対して高く「ためになった」と回答していた。この結果から、学校種を超えた「好み」と「有意義さ」を感じる要因が異なっている可能性が考えられる((1)小学校の「道徳の時間」を有意義に感じる要因と、中学校の「道徳の時間」を好む要因が異質であり、(2)小学校の「道徳の時間」を好む要因と、中学校の「道徳の時間」を有意義に感じる要因も同様に異なる可能性)。一方、「好き」かどうか、「有意義」に感じるかどうか個々は小中学校で連続しており、中学校内では「好み」と「ためになった」は関連していた。本研究では、授業の幅広い側面を調査する目的のため、自由記述において「好み」と「有意義さ」は分けずに回答を求めた。「道徳の時間」の好みと有意義さを分けて影響要因を検討することが、今後の課題として挙げられる。

### (5) 本研究の課題と展望

最後に、本研究の限界と今後の展望を述べる。

まず、本研究は教職課程の大学生を対象に調査を行った。そのため、小中学校で受けた授業の印象が、時間経過によって変容していた可能性がある。また、大学卒業後には教員になる学生が多いと考えられる集団であり、学校教育や授業について教職に就くことに関心をもつ学生が一程度含まれていた可能性もある。そのため、変容の影響は、教職に就い

た後の学校教育に影響すると考えられる。今後の展望としては、変容の程度がどの程度なのかを、小中学生を対象とした研究や、縦断的研究によって明らかにする必要がある。

次に、本研究では、授業を受ける側の視点に立ち、記述の分類を行った。そのため、今後の展望として、個々の記述や分類の内容的な妥当性については、別の議論が必要だと考えられる（例。「答えの不明確さ」という分類は、必ずしも「答えは明確であるべき」という意味を含まない）。

また、本プロジェクトで実施した永田・藤澤(2012)で明らかになった教師の「指導に対する印象」や「効果的だと思われた資料（教材）」の頻度数等との比較も今後の課題である。指導する教師の視点と授業を受ける児童生徒の視点の比較検討が有益と考えられる。

## 引用文献

- 兼松儀郎 (2005). 道徳教育に関する大学生の意識構造—初等中等教育と大学の教員養成との接続の観点から—. 道徳教育方法研究, 11, p.11-20
- 八田雅代 (2004). 心に響く道徳の時間の授業とは—大学生へのアンケート結果からみえてくること—. 道徳と教育, NO.320・321, p.45-56.
- 文部科学省 (2005a). 「義務教育に関する意識調査」中間報告書(小学校調査). <[http://benesse.jp/berd/center/open/report/gimukyyouiku\\_ishiki/2007/pdf/01\\_03.pdf](http://benesse.jp/berd/center/open/report/gimukyyouiku_ishiki/2007/pdf/01_03.pdf)> (2013年10月28日取得)
- 文部科学省 (2005b). 「義務教育に関する意識調査」中間報告書(中学校調査). <[http://benesse.jp/berd/center/open/report/gimukyyouiku\\_ishiki/2007/pdf/01\\_05.pdf](http://benesse.jp/berd/center/open/report/gimukyyouiku_ishiki/2007/pdf/01_05.pdf)> (2013年10月28日取得)
- 永田繁雄・藤澤文 (2012). 道徳教育に関する小・中学校の教員を対象とした調査〈結果報告書〉—道徳の時間への取り組みを中心として—. 東京学芸大学「総合的道徳プログラム」推進本部.
- 植田和也 (2005). 「道徳の時間」についての大学生の記憶とイメージ. 道徳教育方法研究, 11, p.1-10

(柄本健太郎・永田繁雄)

付録：調査票

平成25年4月17日

道徳教育の研究	学生番号		氏名	
---------	------	--	----	--

■ あなたが小学校や中学校で受けた「道徳の時間」の授業についてどんな感想をもっていますか。それぞれについて書いてください。

※ 書いた内容は評価には全く関係しません。感じたことをそのまま書いてください。

小学校	
-----	--

中学校	
-----	--

★表が終わったら、裏面について答えてください。

●あなたが受けた「道徳の時間」の全体的な印象について、番号または〔 〕に○をつけてください。

小 学 校	好きだった	やや好きだった	どちらともいえません	やや好きではなかった	好きではなかった	やらなかった	覚えていない
	5	4	3	2	1	〔 〕	〔 〕
中 学 校	好きだった	やや好きだった	どちらともいえません	やや好きではなかった	好きではなかった	やらなかった	覚えていない
	5	4	3	2	1	〔 〕	〔 〕
小 学 校	ためになった	まあためになった	どちらともいえません	あまりためにならなかった	ためにならなかった	やらなかった	覚えていない
	5	4	3	2	1	〔 〕	〔 〕
中 学 校	好きだった	やや好きだった	どちらともいえません	やや好きではなかった	好きではなかった	やらなかった	覚えていない
	5	4	3	2	1	〔 〕	〔 〕
中 学 校	ためになった	まあためになった	どちらともいえません	あまりためにならなかった	ためにならなかった	やらなかった	覚えていない
	5	4	3	2	1	〔 〕	〔 〕

●心に残る（ためになった）授業があれば、どんなお話・授業だったか1ずつ書いてください。

◆小学校:

◆中学校:

（「ない」または「思い出せない」ときはその旨を枠内に書いてください。）

ありがとうございました。

■ 平成25年度「総合的道德教育プログラム」推進プロジェクト  
企画ミーティング（企画会議）メンバー

永田 繁雄	教員養成カリキュラム開発研究センター
松尾 直博	教育心理学講座
小森 伸一	健康・スポーツ科学講座
北詰 裕子	教育学講座
柄本 健太郎	推進本部専門研究員
荻原 香織	技術スタッフ

■ 教職科目「道德の指導法」（本学における「道德教育の研究」）  
授業担当者

北詰 裕子	教育学講座
松尾 直博	教育心理学講座
井ノ口 哲也	人文科学講座
赤間 祐介	社会科学講座
永田 繁雄	教員養成カリキュラム開発研究センター

※本調査は企画ミーティングで企画し、主に、調査用紙を永田が作成し、  
教職科目「道德の指導法」担当者の協力を得て行い、統計分析及び執  
筆を柄本が行った。

**過去の道德授業の印象に関する調査**

— 教職科目「道德の指導法」の受講学生を対象として —  
〈 結果報告書 〉

発行日：平成26年2月

発行：東京学芸大学「総合的道德教育プログラム」  
推進プロジェクト・企画ミーティング

担当：永田繁雄・柄本健太郎

所在地：〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学

Tel：042-329-7190（学務部学務課内）

E-mail：kokoro@u-gakugei.ac.jp

印刷：有限会社サンプロセス